

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(1-9)、MOX燃料加工施設(1-9))」

2. 日時:令和3年2月10日(水) 13時30分~17時40分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、名倉安全管理調査官、猪俣主任安全審査官、中川主任安全審査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃(株)

大久保 理事 再処理事業部副事業部長 他25名

北海道電力(株)

原子力事業総括部 原子燃料サイクルグループ 副主幹 他1名

東京電力ホールディングス(株)

サイクル技術グループマネージャー 他2名

関西電力(株) 原燃計画グループ 担当

中部電力(株) 原子燃料サイクル部 課長

四国電力(株) 原子力部 サイクル技術グループ 担当

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「設工認に係る資料提出及びヒアリングスケジュール」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和2年12月24日)

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 1 2 月 2 4 日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)

- ・ 令和 3 年 2 月 2 日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和 3 年 2 月 9 日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の津金です。それでは本日のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:07	本日ヒアリング録音して公開するため、発言の際は所属名前を明らかにした上で発言をしてください。また不開示情報発言した場合は、当該箇所を特定して提出することとしてください。
0:00:20	本日のヒアリングの議題はマスキングの方針についてと、耐震設計に関する説明ですと2件になっております規制庁側の出席者はコサクツガネ法キシノハバサキ、カミデアイノマタナカガワとなっております耐震から名倉調査官が参加されております。
0:00:38	日本原燃の方の出席者の説明ください。
0:00:44	はい。
0:00:45	はい、日本原燃方向でございます。まずマスキングの件につきまして、昨日Ⅱ、失礼しました
0:00:54	今日ですね御説明するということで以前のヒアリングで申し上げておりましたけれども、昨日時点で、資料提出がマニーマニ合いませんでしたというか、資料作成が本日御説明できる状態までを作成が
0:01:11	できておりましたので、今日御説明しようと思ってたものが御説明できないということで、時都市を改めて御説明させていただきたいと思っています。マスキングの方針について事業部間で調整を
0:01:29	しているところでございますけれども、何でそういうふうに整理するのかというところが、まだしっかり書き込まれた資料になっていないというような状況でございます。大変申しわけございませんが、来週改めて日程調整させていただきたいと思います。
0:01:48	それから、耐震関係今日の議題になりますけれども、この議題のまず出席者について御説明させていただきます。
0:02:01	まず土建関係ですね地盤のほうですね、ムラカミaミヤモトウノ3名でございます。あと建物の耐震関係でトガシウラバヤシBフジワラスガワラ
0:02:15	オガセクドウ
0:02:18	ムラタ
0:02:20	イの上タカハシ。
0:02:23	キタムラ
0:02:27	以上10名でMOX事業部の方からタカマツAイトウAイシハラ
0:02:35	三番目。
0:02:36	それから濃縮事業部の方で
0:02:39	フチノ1名でございます。あと許認可関係で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	ヤマヂです。
0:02:46	あと失礼しました経営機能関係の耐震のメンバーですね、サガワaキクチ
0:02:54	ヨシダ
0:02:56	スケカワfナバ部長 5 名。
0:03:00	本日はこのメンバーで進めさせていただきたいと思います。
0:03:05	そうでしたらといいますか
0:03:08	大変申し訳ございませんが、
0:03:11	耐震関係の話をする前にですね、本日提示させていただくスケジュールも含めて、スケジュールを少し調整させていただきました先行させていただきましたので、ちょっと簡単にポイントだけご紹介したいと思い、
0:03:28	すかよろしいでしょうか。
0:03:33	規制庁繋がるですお願いします。
0:03:36	はい。それで許認可ヤマヂのほうから説明させていただきます。
0:03:41	はい、本件のヤマヂです。本日お出したスケジュールにつきまして御説明させていただきます。前回の 2 月の 5 日にスケジュールを提出させていただいておりました。
0:03:53	この中でですね。ええと大きく変更させていただいた点としましては、まず前回のヒアリングを踏まえまして、来防護設計方針に関わる考え方、この前段のところですね、しっかり前回の指摘も踏まえて修正をかけてですね対応方針を決定して、
0:04:11	それに対しての回答させていただきたいということで、こちらの対応を優先で対応しようというふうに考えたところでございます。それ、そのあとですね、その前段の方針が決まった後で、例えば個別の議論、個別の内容に関するものですか、そういったところを、
0:04:27	順序はしたいということをお考えまして、スケジュールの見直しを行っております。具体的にはですね、本日お出し、もともと本日お話ししようとしていた案件の中でのですね。
0:04:40	この資料で言いますと、例えば 9 番の第 1 回申請対象以外の設備に係る設工認の記載の概要ですとか、
0:04:49	それから、申請申請設備に係る既認可との関係ですとか、それから配管の範囲について、こういったものにつきましては、基本設計の前段の整理をした後でお出ししたいということをお考えまして、
0:05:04	経営本日 10 日から 19 日に変更させていただいたところがございます。大変申し訳ございませんが、そういった形の修正をさせていただきたいと考え

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ておりますのでよろしくお願いいたします。それからこういってんす少々お待ちください。
0:05:22	日本原燃の松岡です。設備の選定に関し、ノする。ちょっとスケジュールについて私のほうから説明させていただきます。2月の5日の日にですねNo.4、ここを対象設備の抽出についてということでヒアリングをさせていただきましたので、
0:05:39	その際今後具体的なですね、系統図等を用いて3回にわたって説明するというのでこちらの方から提案させていただきます、それがですね、ナンバー678Eになってございます。
0:05:55	で、その後それに先立ちましてナンバー5なんですが、こちらがですね所配管のここからここまでという。あのくり方とその名前のつけ方でそれを使用表それから設備リスト林道を展開するのかと。
0:06:10	こちらのほうを今のNo.6780 御説明差し上げる際に配管に識別する田んぼ等をつけたいと考えてまして。ちょっとそれに先立ちまして今No.5を19日の日にお出しするというので置いたところでございます。
0:06:28	すみません、この押すと、このスケジュールに水層ちょっと沿いまして、No.のですね、17と18、こちらが第1回申請のですね配管の範囲であるとか、
0:06:43	安重の範囲にちょっと変わってきますので、これ、この3点No.5kAそれからいうのが18これを19日に部同日にお出してヒアリングも同日にやらせていただきたいと、こういった考え方でスケジュールを見直すさせていただきました。
0:07:01	選定関係以上です。
0:07:05	スケジュール関係の説明は以上になりますってません口頭で出席者の説明するときにマツオカの名前をすいません。抜けておりまして申し訳ございません。今日出席しております。以上です。
0:07:20	規制庁成長コサクあまコサクからどうぞ。
0:07:24	この話にちょっと聞きたいことがあって、規制庁コサクですけども、審査会合でもお話ししたいと思っはいるんですけど局所的な説明じゃなくてですね全体としての説明方針を
0:07:43	いっていただきたいんですけど。
0:07:51	そうだな。
0:07:54	もっと五つ今説明のあったところの関係で本文の整理みたいなところの話で言うそうですね。
0:08:03	設備抽出の話として段階的っていうのは、前回お話しした通りなんですけど、その際にですね、配管の話はされたんですけど、主要弁とかですね、それそれらもろもろどこまでの範囲にするのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:22	っていうことがないと系統図見てこれで大丈夫だねってというような話にならないと思うんですけどそのあたりをどう考え、
0:08:32	ておられるんでしょうか。
0:08:38	はい。
0:08:39	そう。
0:08:41	日本原燃の松岡です。
0:08:44	はい。今ご指摘いただきました。所配管まで配管とまた等々というのは何か物をですね例が御指摘のあった主要論点Ⅷ、こういったところの考え方につきましても、今回配るの我々の
0:09:01	ちょっと社内で作っているガイドのほうでは、こういったある考え方でちゅ抽出それから分類をしてございます。とございますので、まずその外部との考え方を、これからはい。まずカワモトでございます。御説明に
0:09:20	あたってはですね、ちょっとまたすみませんほかの資料を加味してきて申し訳ないんですが、No.20 のですね仕様表記載項目の整理、こちらのほうのフローでいうところですね①番の主要仕様の
0:09:36	使用表で使用済メス示すべき対象といったところの具体的な今回どれが選定のときに考えた考え方をですね、それと使用表のテンプレートのほうに反映していくといった、ちょっと今、
0:09:51	そういうことを考えてまして、この資料兵庫整備の中であわせて説明するつもりでございました。
0:10:00	規制庁コサクですわかりましたそしたら 19 日に出てくる資料で一通りその考え方って示されてそれに基づく作業っていうのも一部、それはあれか 26 日か、それを踏まえて、その後 2 次具体的な作業が見れて、
0:10:19	準じ展開をしていくということで理解をしました。一方でですね、このスケジュールだと第 1、1 例で見てといったところのコメント反映ができないままずるずるいってしまうような感じがしていて、
0:10:36	ちょっと不安なんですけど。
0:10:40	そこのリスクも考えた上でその後の計画を立てておいていただければと思います。
0:10:48	もう一つのス関係は今回の審査会合の論点になる前
0:10:57	ただ計画ですかね。
0:11:00	農村
0:11:02	それぞれの申請がどういう関係にあるのかってというようなこと等の整備ですけど、それはあ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:10	前回のヒアリングではまだ十分書けてないので、整理をしていきますという断面だったんですけど。
0:11:18	それはリスクはこれだと19日に一式わかるようにしてきて、
0:11:24	整理がつくっていいんですかね。
0:11:30	はい、山口です。はい、おっしゃる通りです。19日にですね、今の一番のところで分割申請計画について、というところございますけども、19日の日ですって、少々お待ちください。
0:11:49	失礼しました。
0:11:54	うん。
0:12:11	土産で車両がございます。ご指摘の点もちょっとスケジュールにそういう、そういう点ではカワモト横並びをとって示し切れてないところがありますので、そこは考え方今御説明しますと昨日御説明させていただいた通り、
0:12:26	まず現状程度スキームどういうことをやりたいのかということで全体の考え方と、あとはそれに基づく第1回も算定としては申請書の全体の分割に関する構成をどうするかという事あと申請開示部分の技術基準とその申請設備の日付等でも、
0:12:46	申請書単位で必要になりますので、そういったことも、まずは例示として示させていただいたように全体に展開するという段階的な言い方をさせていただきたいと思ってませんそれをスケジュールのほうに反映させていただきます。
0:13:00	はい。起こりもした。
0:13:02	kA
0:13:05	大きな話は、本文の今のところなんですけど、それとは別に準備できることもあってるんだけど、C資料が出てこないからできないんですよっていうのを、前回ヒアリングでお話しましたけど、
0:13:19	その関係では、グループ1でいえば火災防護をこう竜巻防護をこう溢水等続いてくと。
0:13:30	ということなんですけど。
0:13:35	その辺りは、
0:13:40	これかと。
0:13:42	火災については大体出されていて、確認して、第1週ヒアリングですか。
0:13:55	一つ巻き以下については一部竜巻出てるのもありますけど。
0:14:01	追加で今週資料提示があって買収ヒアリング
0:14:06	ということで、
0:14:08	第1週のヒアリングを踏まえての対応を進めていく中で論点がはっきりしてくるということで、次回審査会合ではこの辺りを

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:19	議論するっていうことでもいいんですかね。
0:14:24	日本原燃の項でございます。グループ中については、そういう考えで進めさせていたきたいと思っております。
0:14:33	はい。
0:14:36	定期。
0:14:38	この
0:14:39	等の議論にはなりますけど、グループ2のほうは、
0:14:46	まだ入口のライブヒアリングは重ねてるけど入口。
0:14:50	その状況で、先ほどもまず骨格を定めていくからみたいなの、
0:14:54	ところの
0:14:57	よって提供やられるかと思うんですけど。
0:15:02	その点では、
0:15:05	当進むかと。
0:15:08	いうと、
0:15:13	外力で御説明いただいてもいいですか。
0:15:31	はい。
0:15:32	日本原燃通してございます。今程お客さんの方からお話のあったところでございますけども、まず基本的にこれまでいろいろと当社の方から補足説明資料関係のほうを記載させた計算させていただきまして、その内容に関しまして御説明させていただいているところですが、
0:15:51	基本的なそのデータの不足であったりとか、あとその記載内容の全体的な網羅性の地溝といったところが、基本的に、これまで出させていただいている使用に関していただいといたところになってございます。この部分につきましては、いただいたコメントのほうを踏まえまして、
0:16:07	データ関係の報酬であったりとか、その部分に
0:16:12	現ほかの説明に対しての全体を網羅性等を含めましたところで資料の改正のほう11今実施しております。この部分に関しましてはコメント回答というような形の法定鋭角補足説明資料に関しましてできた順のところから淳二町盤関係を含めまして御説明していくというような
0:16:32	市の方で現在調整をしております。本日につきましても新しく2方向の検討を7000規制庁コサクですけど、そういう細かいことを聞いているのではなくて、審査の大枠の流れとしてどういうふうに進めるつもりですかと。
0:16:49	お聞きしていて、ここ数週間でどこまで片をつけて、その後どういことをやっていくというつもりなのか、具体的には、次回の審査会合でどういことを出すつもりでいるかっていうことなんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:09	そういう視点で今作業されてないということはよくわかりましたので。
0:17:13	それをよく考えて対応してってください。
0:17:21	兵庫県でオオクボでございます生じました。
0:17:29	規制庁コサクです。それで、スケジュールの関係は、私から今のところでの確認は以上なんですけど、最初にお話のあったマスキングの話なんですけど。
0:17:48	資料がつかれませんでした。なのでヒアリングは先延ばしさせていただきますという。
0:17:54	以前にですね、前回も申し上げましたけど、マスキングの考え方っていうのはそもそも整理されてなくて、
0:18:02	いけなくてですね。
0:18:04	それを、ばらつきがあったから、
0:18:08	多分それぞれのところでちゃんと情報共有をしてまとめてくださいと言うだけであって、
0:18:13	資料をまとめられませんでしたっていうのはあり得ないんですよ。
0:18:19	前回申し上げました通り、
0:18:22	なんで。
0:18:23	その上で、なぜそんな状況なのかっていうのをお伝えいただけませんか。
0:18:31	はい、日本原燃の項でございます。すいませんあの資料が持ってまとめられなかったという言い方をしてちょっと誤解を招いて申し訳ございません。マスキングする箇所については、商業機密ですとか、それはそういうことを含めて、こういう所マスキングするんだということは社内的にそれは、
0:18:51	決まっております、ただマスキングの範囲、この部分をマスキングするんだっていうところに事業部か或いはもう再処理事業部の中でも、部署によってばらつきがあったということが実態としてございました。
0:19:09	こういう所マスキングするんだっていうことは、書類としてはありますのでそれはいいんですけども、作業として、どういうばらつきが今まであって、それをどう対応するんだっていうところが何か御説明できるような形までまとまっていなかったと。それ、
0:19:29	結果、それに至らなかったということなんです。そこを最初に計画部を中心に今、他の事業部とも連携をして調整しております。少し時間がかかっております恐縮でございます。そういう状態でございます。
0:19:50	はい。
0:19:53	規制庁、古作です。今の説明だと説明資料を作るのに時間はかかっている、内容はもめてるわけじゃないっていうことのように聞こえたんですけど。
0:20:05	日本原燃すいませんちょっととどんどん

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:08	言い方がまずかったのかもしれませんが
0:20:11	作業方針をしっかりと作ること自体がまだできていないので、資料がつくれてないということです。
0:20:19	規制庁項目です。その作業方針というのは、もともとなきゃ困るでしょうということを先ほど申し上げたのであって、結局そういうのをちゃんとつくる作なり認識を
0:20:30	もつということができてなかったから、こういうバラバラの状態になっていてそのバラバラのことも議会をせずに、
0:20:39	事務局はただ単純に横流しをしていたと。
0:20:43	いうことを今更ながらに気づいたっていうことでいいですか。
0:20:50	はい、今更ながらと申し上げたのですけれども、作業すること自体はあるとこういうことふうにやるんだってというのはあるんですけども、漠然とした書き方になっていて、そこにやっぱりばらつきがあったということですので、
0:21:05	その作業をする上でばらつきがないように、
0:21:11	作業方針をしっかりと作り込むということでセット規制庁コサクです。
0:21:18	これまで幾つかエビデンス数の確認として、原燃の社内図書、
0:21:24	もう幾つか見させてもらって、マニュアルとしてはバックとしてはよくできてるなんていうのはいつも確認させていただいているんですけど。
0:21:34	枠がどういう意味合いを持っているのか具体的にどうなのかっていうのは曖昧なことが多くて、
0:21:41	で、それぞれの人が認識をしていけば、それでも全然運用できるマニュアルなんだと思うんですけど。
0:21:50	実態問題としてちゃんと動かないことが多いので、というふうになってますかっていうのはいつも聞きしているという状態です。
0:22:00	それで、マニュアルが悪かったカラー統一がとれませんでした、ばらつきがありました。
0:22:08	いうのは本当は嘘で、
0:22:12	マニュアルがそうであっても、
0:22:14	できるものはできるですよ。
0:22:17	一番できない理由の大きな問題は、
0:22:22	施設工認のこれまでの準備の段階で、体制として問題点としてお話ししてましたけど、
0:22:29	チェックする人が何もチェックしてないからなんですよ。
0:22:34	今回のマスクングの対応でも事務局がっていう話で聞いてますけど。
0:22:38	じゃあその事務局の人は各

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:42	作業者が出してくるものがばらつきがあるってということなんて認識してないんだ。
0:22:47	チェックするということはばらつきが当然認識するじゃないですか。
0:22:51	何でそのばらつきを直す必要があると思えないんですか。
0:22:58	そういうところが問題なんだと思うんですけど。
0:23:01	というのは是正は、
0:23:03	今回言われたから是正になるかもしれませんが。
0:23:06	これだけに限ったことじゃないんで。
0:23:10	そのあたりどう考えて対応しているんですか。
0:23:15	日本原燃方向でございます。作業場で作業するそのマスクの箇所特定してこうだというふうにマスクをしてそれをチェックする側ですね、そこはコサクさんがおっしゃるようにチェックが1届いていなかったというところが、
0:23:34	ございます。その作業体制チェック体制もしっかり作った上でやらなきゃいけないということが
0:23:43	まだできていなかったというのが実態です。それを体制をもう少し明確もう少しとか明確にしてですね、チェックをするということが今日出する予定だった資料にもそこが書き込まれていなかったところもあって、
0:24:00	そういうチェック体制ですとかも含めて対応方針として明確にします。
0:24:07	規制庁コサクです。今の言葉でもそうなんですけど、申請前の準備段階の体制の議論でも態勢体制って言葉の中に、
0:24:19	頭数だとか、
0:24:22	きちっとの割り当てみたいなことでの体制、
0:24:26	としか表れてきてなくて、
0:24:29	実は伴わないことが多いですね。
0:24:33	これまでのマスクのチェックも数人でやっていたみたいなんですけど。
0:24:39	実際問題として我々も数人でマスクがおかしいということは、
0:24:44	わかったわけですよ。
0:24:47	なので、
0:24:49	人数の問題というよりは意識の問題なんですよ。
0:24:54	そういったところを是正をするためにどうするかっていうことを
0:25:00	全体として継続的に対応しないと。
0:25:04	いつまでたっても変わらないですよ。
0:25:08	そういうことも含めて、せっかく資料作るのにちょっと検討するっていうのであれば、
0:25:15	そういうことも念頭に対応していただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:19	以上です。
0:25:22	日本原燃の構成でございます。はい。今ご指摘いただいた点も踏まえまして、資料作成して提出させていただきます。
0:25:31	以上です。
0:25:38	規制庁価格ですそれではツガネさん進めてください。
0:25:43	はい規制庁津金です。他とスケジュールやマスキングの件についてコメントある方いらっしゃいますでしょうか。
0:25:53	すいません規制庁のタケダなんですけれども、そのマスキング方針をまとめていただくにあたって、何日でのヒアリングで説明があるかとか、その規律をちょっとお知らせいただけるでしょうか。
0:26:15	今、
0:26:16	日本原燃の久保でございます。別途ヒアリングにつきましては
0:26:22	来週ですね、他の共通的な事項と事故もあったと。
0:26:28	来週のヒアリングをさせていただく中で、どこか適切なタイミングでと思っておりますが、まずはあの資料をつくって御提出するというのが先決でございますので、今日出しできなかったものを
0:26:44	来週月曜日には提示させていただきたいと思っておりますので、それ提出を踏まえて、
0:26:53	来週、
0:26:55	ヒアリングさせていただきたいなと思っております。
0:27:03	規制庁タケダです。はい、わかりました。
0:27:07	作業の方はお願いいたします。
0:27:10	拝承しました。
0:27:15	すいません規制庁カミデです。ちょっとスケジュールで確認なんですけど、グループ2のスケジュールの基本方針のところ、修正方法について全社大での方針決定が必要という話なんですけど今を
0:27:32	この辺りの検討状況というのを説明していただけますか。
0:27:42	日本原燃の久保でございます。
0:27:45	この発電炉との比較を再処理等MOX、それを並べてきたこうするというのを整理をしたするルール資料また市の方でお出ししておりますけれども、まず分類の仕方として、あまりバラバラにならないようにということで、許可と整合させた。
0:28:05	していること、それは発電炉の設計が基本的には同等なもの。
0:28:11	許可と合わせたという表現をしようというものが一つ。
0:28:15	もう一つは、プラントこういふという言葉を使って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:19	発電炉と設計が違うもの、それは許可のものを持ってきた結果、記載を踏まえて書いて並べると発電炉との記載が違うと。それは設計が違うからだという整理になると思いますけれどもそういうもののプラントこういという言葉で整理をしようと思っています。
0:28:36	その大きく二つに分けた上で、それぞれの理由は、詳細をその説明の中で追記超えるという整理をしようと思っています。その整理をした上で、設計が3%と設計か違うものをいわゆるプラント固有というものについては支柱に応じて補足説明資料に展開して、
0:28:56	設計の違いを説明していくというところに繋がっていくと思いますので、それは全体で考えたときに置く説明資料何をお出して説明するのかという話とも繋がってきますので、そういう整理を全体で整理した上で、耐震のほうについても、
0:29:13	も説明させていただくという流れで考えております。こういう整理をしていきますというところを来週、お出しますSAPとですね私させていただきたいと思っております。
0:29:28	以上です。
0:29:30	規制庁カミデですから聞きたかったのは、安全たい方針決定後であるので、それが決定してるのか、決定してないのか、決定してないのであれば、いつごろそういうめどが立つのかというのをもう一度説明していただけますか。
0:29:51	日本原燃の久保でございます全体方針としては十分値来週資料提出させていただきますので、それであのサンプルも含めて、こういう方針で整理させていただくというところ、来週、
0:30:05	資料を御提出させていただいて説明したいと説明をされるか。
0:30:11	規制庁コサクです。すみません。せっかくスケジュール表あるのに、グループ位置を示さずに説明されてもよくわからない。
0:30:19	定例
0:30:20	グループ1のどの資料でどう議論をして、
0:30:24	当つなげていくのかと明確にしてください。
0:30:32	はい。
0:30:35	はい。
0:30:36	日本原燃の人間のヤマチですと、今の御説明ですけども、グループの資料で言いますと、っちゅ14番のところです、発電炉とか記載の違いについてという資料になります。これにつきまして、もし今の報告からうちの1ということをお話しさせていただいておりますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:54	今ほとんどとしましては、17日の日目出しをさせていただいて来週ヒアリングさせていただきたいという提案の住民のタカハシの時にですね、平成サンプルを候補として整理しましたというサンプルを出して考え方を御説明させていただきたいというふうに考えているところでございます。
0:31:16	規制庁カミデです。わかりましたということは時18日に暇ヒアリングをするんで、その結果を受けてからじゃないとグループ2の基本設計方針のところ埋まってこないということで理解しました。
0:31:34	すいません、日本原燃サガワです。今のカミデさんの御指摘に対しましてカミデさんが心配してるのは、イトウグループ2の部屋ヒアリングの中で今の工程どこまで影響を受けるんだっていうところを心配してるということで理解しております。今の御指摘に対しましては1月19日、一番最初の
0:31:54	ヒアリングのときにコサクさんから指摘を受けてましてとか整合ってところと許可整合に関係ないところで規制庁殿から指摘いただいて新たな論点というところは、それはすべて説明しますっていう話をしました。そうなったときに、例えば今これから説明するものとか土建さんが来週やるものというところいきますと、
0:32:14	基本方針とはちょっと違うところで説明していけるものもあるんですけども、今の基本方針からの一貫性の流れというところで起電設備の中でちょっと影響が出るかなと思ってるのが一つあります。それにつきましては40、
0:32:30	9番のところでですね。はい。
0:32:33	水平2方向のところの考え方の説明ってところで来週お出ししようとしていたんですけども、ここの説明に当たりましては、基本方針からの流れを一式説明するってことで考えてございましたので、先ほどのうちのヤマチのほうが申しました工程でいきますと、その
0:32:52	本当は作成の仕方が決定してそれを基本方針の比較表に落として一貫性を持った説明をするというところではここは少し見直すことになるかもしれないなっていうことで、今聞いてました。すいません。
0:33:10	規制庁カミデです今の説明は
0:33:13	4849番9番が今のスケジュールより遅れそうだったという話ですかと考えて記述したですね。はい。
0:33:24	必ず一貫的にその部分を切り出し期間的に説明できるのであれば、基本設計方針等は先行して切り離し見ることも可能ですけどそちらは伸ばすというのであれば、特に異論はありません。
0:33:43	わかりました。びっくり位置のお話の中でコサクさんから指摘ありまして、許可のところは必要になる場合は後ろに添付した上で説明するという話がありまし

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	たので、であれば今の設工認のところの後ろに添付して説明するという対応も考えられますので、そこについては検討します。
0:34:01	なるべく遅れないように出すつもりです。はい。
0:34:06	規制庁コサクです。
0:34:10	グループ1のほうも、このタイミングでどう議論して18日にヒアリングしてその後こういう順番でやっていきたいというふうにスケジュール入れてますので、グループ2のほうもそれに応じて具体化していただけたらいいかと思いますので、引き続き検討を進めてください。
0:34:31	はい、4年サガワです。了解しました。
0:34:40	規制庁イノマタです。グループさんのスケジュールについて、少し確認をさせていただきたいんですが、1先日、そちらの方からご説明あった通り、アドレスその使用表の記載については、
0:34:58	グループ一井の議論5分間入ってちょっと引き続き検討していくということで説明にあたっては、その技術基準等の関係政令の方にシフトしていくということで、それでわかったんですけども、
0:35:16	この表で言うところのですね、例えば17番の項目。
0:35:26	ここで23番とか30番の項目で対処する条文を説明しますというふうにしたんですけども、それとその補足説明資料の中が若干仮に致死率てるわけじゃないんですけども、
0:35:43	このページの補足説明資料等を説明してますという受ける条文との関係っていうのはどういうふうに説明するつもりなのかっていうのを説明いただけますか。
0:35:56	文章です。
0:35:58	ちょっと情報の冒頭にも使っていませんとこあるかもしれませんが音楽が第3回目に次の申請例でヒアリングのときには、従来も結婚もともと安全評価関係で求められてるようなものを
0:36:15	先に一番最初に説明をさせていただいて、次の4回目と言えば、というインターロックとか、週の勤務関係の詳しい説明をさせていただいて、最後第5回には残りを説明させていただくという大きな流れを考えております書と条文とのマッチングが
0:36:34	整合がとれてないかもしれませんが、流れとしてはそのような説明をさせていただくことを考えております。
0:36:46	生協イノマタですが何となくイメージはわかりました。説明にあたっては、それぞれこの範囲を説明できるかっていうのですね、明確にしていいただければ結構だと思いますので、鋭意対応のほう、よろしくお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:05	もう1点です。ちょっとその辺りがちょっと反応度聞こえる方でももちろん大きな損傷か。
0:37:15	規制庁の松井です。基本的には状況はわかりましたということで、それぞれの説明会があった段階ピンを解読回答またあるということなので、それぞれの条文に対して説明するのかということですね。
0:37:32	ちょっと整理をしながら説明をしていただければということをお願いしました。
0:37:39	どうしてもですはい、了解いたしました。
0:37:54	規制庁コサクです。今の点だと17番。
0:38:00	22番。
0:38:04	30番とかで条文番号会計。
0:38:09	あるんですけど。
0:38:12	これがあれですかねその下にぶら下がってる補足説明等、それぞれリンクが張られて、
0:38:20	その内容ごとの固まりで説明していくっていうつもりだったとまずは思っておけばいいですか。
0:38:29	フチノです。条項がぴったり合っていない。
0:38:35	若干は向かなかったところあるかもしれませんが、一方はそういうところですよ。
0:38:41	規制庁補足ですわかりました。整理を進めていただいてと思うんですけどそれでですね。
0:38:49	きちっとこれも他と言ってるのと同じなんですけど資料提示が遅いんですけど。
0:38:56	これはどうなの。
0:38:59	出るんでしょうか。
0:39:03	本部長ですね、
0:39:07	先に御説明を続けてきた事実関係の今の申請書の事実関係のほうも整理に時間をかかっておりまして、高覧の今後の説明資料のほうはまだ追いついていないと思うの。
0:39:23	ウノ自体は決まっていますけどもちょっと資料のほうに削減にてが追いついてもらったというのが実情でして、それで今できるわけ。
0:39:32	説明資料の品質落とさないようにということを考えてこの時期に設定をさせていただきます。
0:39:41	規制庁コサクです。事実関係の整理に時間をはかってっていうのがいまいちよくわかりませんが、これも前々から言ってる通り申請するときに、補足もまとめて作っておいてくださいとお願いをしてあったので、もうちょっと準備が足りてないなというところ。
0:40:01	だと思んですけど、原燃の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:05	作業を方針としてですね、審査会合の資料でも濃縮を先行して終わりにできるだろうというふうに書かれているんですけど。
0:40:16	現状の補足説明資料の提示を
0:40:19	濃縮が一番遅いですよね。
0:40:26	その辺りの特徴です。
0:40:33	しかし先ということをお願いしてましたの。
0:40:39	ですがそこにそう言ってないというか、減便当社側の準備組み入れ追いついてないというのは事実ですのでそこはもうちょっとやりませんお詫びするしかないです。
0:40:52	規制庁コサクですお詫びをしていただきたいわけじゃなくてですね、計画を適切にして状態を適切に説明して欲しいっていうことをでして、15日の説明資料を、の書きぶりとこのスケジュールが整合していないので、
0:41:10	ちゃんと説明してくださいねっていう
0:41:12	こと。
0:41:13	ですので説明がサノ方針としてちゃんと整理されていることっていうことで対応いただければと思いますので、
0:41:23	15日資料をわーいちいを
0:41:29	今日出されるんですけどかね。
0:41:34	一応修正も間に合うんじゃないかなと思うんで。
0:41:39	給水を確認して、
0:41:42	内とかいうください。
0:41:46	日本原燃者でございます。資料出しするまでにまた修正案間に合いますので、やっぱり支社全体としての優先順位をもともといったことに対して、できてないところに対しては、正直そこ言及した上であとはどうりカバリするかっていう方針も含めて
0:42:06	記載をさせていただきたいと思います。
0:42:09	超高速ですよろしく申し上げます。
0:42:21	規制庁津金です。ほかコメント等よろしいでしょうか。
0:42:31	はい。
0:42:32	ないようでしたら、スケジュールとマスキングの話については以上ということ
0:42:40	については来週説明があるというお話でスケジュールについては今説明があった通りの見直すと。
0:42:46	ということだということで理解しました。
0:42:50	よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:55	規制庁使ってスパイ人間の後でございます。はい、結構でございます。
0:43:01	施設をつくるです。
0:43:03	それでは、議題の2に移りたいと思います。
0:43:07	議題について、種軽減日本原燃の方から資料メールと、
0:43:13	説明とについてお願いします。
0:43:20	はい、日本原燃横尾でございます。これから御説明する資料で2種類ございまして、資料のタイトルに基本ロジックと書いた資料等、あとこれまで提出させていただいたような体裁の補足説明資料というものがございます。
0:43:36	先に、この基本ロジックというふうに書いたペーパーについて御説明させていただきたいと思います。まずこの基本同じにつきましては、前はヒアリングまでに御説明させていただいた地盤モデルの検討、あと液状化に関する基本ロジックこの2件を御用意させていただいておりますけれども、
0:43:56	もう現在のほうから何を説明したいのかとどういう説明内容なのか、既設工認で何を見ていく御確認いただきたいのか、補足説明資料で何をご提出して御確認いただくということなのかというところが、
0:44:16	的な説明がうまくできておりませんでしたので、簡単でございますが、これ箇条書きの形でこういう時例えば地盤モデルについては、こういうことを御説明させていただきたいとそれについて補足説明資料だと。
0:44:32	いうところをちょっと頭の整理も含めて、ペーパーにまとめましたので、まず地盤モデルのほうから先に説明させていただきたいと思います。
0:44:46	そうしましたらすみません日付が2月期のツガネ数分一緒資料ですねも提出いただいて、TTKの内容については、規制庁のほうでも確認しておりますので、ちょっとこちらの方からコメントをいくつかしたいと思いますがそれよろしいでしょうか。
0:45:02	はい、承知しました。
0:45:05	規制庁津金です。それではまず、地盤モデルに関する基本ロジックについて、コメントある方いましたらお願いします。
0:45:34	規制庁津金です。
0:45:37	貯金ロジックといいますかこの考え方はこういうことなんだろうなと思ってるんですけども、基本的に
0:45:44	いろんなデータがやっぱ不足してるんじゃないか根拠が書かれてなかったりとかですね、どうしてそういうふうになったのかっていう途中の過程が全く見えてないとは現状の資料だと思っておりますので、ここに書かれたことに対して、どういった根拠でどういった理由でこうしたのかということをきちっと説明していただきたいというのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:01	大きなこちらからのコメントになります。
0:46:06	はい、日本原燃大久保でございます。まず地盤モデルにつきましては、ここに書いてあることを読み上げても仕方ありませんので、そこは読みませんが、根拠については、ボーリング調査ですとかPS検層Aのこれを調査を実施してその結果を踏まえて、
0:46:24	三つのエリアにいい地盤モデルを開けて、設定しているということで、その根拠になりますボーリング調査ですとかPS検層の結果を報告説明資料で前回のヒアリングで以下を出しさせていただいておりましたが、その際、
0:46:41	直接関係ありそうなところをピックアップして御提出したということで、ここに今日ペーパーでお出したように、全体を網羅するように依拠したボーリングということで実際はやっておりますが、孫データ自体が網羅したデータを出してきていないということがこのペーパー整理。
0:46:58	しながら、我々が前回コメントいただいたところがちょっと足りてなかったということは改めて認識しましたので、その根拠になるデータというのを補足説明資料で拡充して御提出させていただくということで進めたいと思っております。以上です。
0:47:24	規制庁カミデです。津金さんすいません少し通信状態が悪くて、ちょっと聞けてなかったんですけど、今状況としては、液状化の話と、地盤モデルのロジック今回二つ資料あったと思うんですけど最初に、
0:47:43	地盤モデルの話をしてるということでしょうか。
0:47:47	規制庁津金です。はい、おっしゃる通りです。
0:47:52	わかりました。規制庁カミデですけど、すみませんその地盤モデルの話でお話あったかもしれないんですけど、その地盤の物性みたいな話っていうのは今日課長とまで説明していて、
0:48:08	設工認でどこから話をするというようなちょっと許可との関係をもう
0:48:16	もしくは修復するかもしれないんですけど説明してください。
0:48:22	日本原燃の項でございます。ええと地盤の物性につきましては許可の段階で解放基盤表面の表層の地盤モデルとして設定する。物性値を平均値の形で、中央値ですね、
0:48:37	許可の段階では御提示させていただいているということでございます。設工認の段階では、この中央値に対して± $\sigma$ のばらつきを見て踏まえて評価しております。その± $\sigma$ のばらつきの
0:48:54	整地物性データですね、これをばらつきのデータとしてお出しすると。
0:48:59	御提示させていただくということになります。それを踏まえた欠航には評価を実施しているということになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:09	規制庁カミデです
0:49:11	許可の段階で平均値っていうのはそれ、どういうその説明のために作ったものなのか、例えばその指示支持地盤の確認っていう意味では、これをこの平均値の話が話そうという話が出たのかちょっと説明してもらえますか。
0:49:33	権限で行う権限良好でございます。許可の段階では基準地震動に対して、建物の評価をするということでコアの気持ちで評価して基準地震動に対しての説明をする場というのは、
0:49:50	理解しております。
0:49:53	右上にトガシございます。ちょっと補足させていただきます。許可の段階といたしましては当然基準地震動の設定といったところが許可での基本的な地方の中身でございますその中で、基準値としてが解放基盤のほうで設定されてございますけども、こちらの方が実際の建屋の
0:50:10	定年課に於いて地盤モデルのほうを介して
0:50:16	ちょっと確認していくんですけどもその際にサイトの中で辺がですね応答の増幅結構傾向とか、そういったところがないといったところですね、確認するという意味合いのところで、解放基盤よりも浅い部分の岩盤部に対しまして地盤モデルのほうを停止いたしまして、
0:50:33	建屋底面位置において基準地震動の応答の傾向といったところを確認するという位置付けのところでは所地盤モデルといったところは提示させていただいております。
0:50:43	以上でございます。
0:50:50	規制庁カミデです。あとは今回平均値を使うっていうことなんですけど、
0:51:01	プラマイ010を見ているということもあるんですがその平均値を使用することの妥当性の考え方っていうのを説明させていただきますと、
0:51:15	はい。
0:51:16	はい、日本に投資をされます。基本的に当評価といたしましては、今ほど御説明させていただいております平均値といったところの評価の放置するつもりですね、あと±0につきましても地盤物性のばらつきといったところで、
0:51:31	こちらの方のばらつきの評価といったところで応答解析のほうは実施いたしまして最終的にそのばらつきと中央値を含めたところで構築物等の評価のほうを実施いたしまして、評価上問題ないといったところの確認を実施しているということです。
0:51:46	それでは中央値だけで評価しているわけではなくて、こちらの方のばらつきといったところもですね考慮した中で、最終的な応答結果の放置しているといったところがございます。以上でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:59	規制庁カミデです。そのばらつきの評価結果っていうのも申請書の計算書でも見れるようなものでしたっけ。
0:52:09	ばらつい結果につきましても
0:52:14	地震応答計算書におきましてはこれで中央値の辺りの御示してございますけれども、こちらの耐震計算書に記載に構築とか本部で評価を実施するに当たりましては、こちらのばらつきの結果といったところもですね提示いたしましてそのばらつきの結果においても、当評価でございますけれども、こちらの方が耐震
0:52:34	で問題ないといったところ、結果のほうを示してございます。そういう申請書の中で見える形になってございます。
0:52:46	規制庁カミデです。わかりました。先ほどツガネの方からもありましたけどこの説明紙に書いてあるんですね、エリア全体を網羅するように実施したボーリング調査、
0:53:02	などですとか、その結果から、地価構造に大きな経営者や、地層層序の違いはなくというようなことがきちんとわかるようなデータをですね、補足説明資料に、
0:53:20	きちんと展開して示すようにしてください。私のほうは以上です。
0:53:29	日本原燃東証点数了解いたしました。
0:53:32	ハセガワですけど
0:53:36	あのさ、トガシさんの説明っていうか今のロジックのカミデ確認したいんだけど、今のトガシさんの説明によると、最後の耐震要は計算するときに、ばらつきを考慮して、
0:53:51	見てますっていうことだとすると、そもそも全体の地盤が平均的なものとして取り扱っていいというのはあまり意味を要さなくなってくるんだと思っていて、
0:54:06	で、それぞれ建物に近いところの
0:54:10	データは全体的には平均的にそんなに大きなばらつきはないということを前提とした上で、建物に近いところのデータ使ってやっておりますと、だから、建物に厳しい評価が出る。
0:54:26	ものもちゃんとCIGMAで見た上で厳しいのでやってますみたいなそういう説明に聞こえるんだよね。これ二つのロジックがここでね、構築できるんだけど、
0:54:38	全体建物はもう平均をとってやればいいんですけど、
0:54:44	いう、それはこの地盤がみんな平均的なんでドコモどれ取っても実は委員で平均でやりますって言って正しいほんとに平均がいいかどうかについて、都市ばらつきも一応

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:00	念のためにチェックしてますという、だからばらつきの評価っていうのは、平均値でいいことのチェックに使ってるのかって言うのが1個で違うロジックになると、平均は平均で平均化なんだけれども、実際の建物の評価するときには、
0:55:18	ちゃんと厳しいものを使って、平均からのやっぱりずれがあるんで、建物ごとにそのばらつきを見て、もうちょっと厳しいのでやってますというのが二つ目のロジックね、これどっちなの。
0:55:36	次にトガシございます。今ほど中野管理官の内容でいきますと、後者のほうだというふうにとらえて、私どもとしましては、評価のほうを実施してございます。
0:55:48	そうするとね、書いたロジック違うじゃん。
0:55:52	はい。
0:55:55	だからね1枚で書いてもらったロジックは、違うよね。
0:56:00	だから全体として三つの地質構造に分かれてそれぞれはそんなにばらつきはないんですけどいうことは前提としていいけれども、
0:56:11	実際の評価にあたっては、平均的なんだけれども、ちゃんと念のために、その建物に即したですね、ばらつきをちゃんと見てそれぞれ、ここにセットしてますというのが正しいんじゃないの。
0:56:32	規制庁コサクです。ちょっと私成果理解してたの管理官の最後の表現と微妙に違って、
0:56:41	東西中央す三つに分けて三つそれぞれでは、
0:56:48	何だろう。そする三つの中でその一つで言えば、
0:56:53	ばらつきは小さいので、代表した一つの条件でやります。その他の定めるのは平均値+σで経営厳しい形でのある程度厳しい形での設計をしますっていうことかなと思って聞いたんですけど。
0:57:13	ちょっと原理の方からちゃんと説明してもらえ年間とこれ説明しないとね、ここがだからロジックの重要なとこなんだよね。
0:57:23	等で原燃をちゃんと説明しないとイケないのよ。
0:57:26	で、我々もねこどっちがどうかよくわからないんだよ。
0:57:35	このうちの
0:57:37	委員長。
0:57:52	次にトガシございます。保護者の方でやってる内容につきまして、今、道を進めさせていただきます。基本的に当社のほうの敷地につきましては、こちらのほうのポジションペーパーに書いて、
0:58:05	おりますけども、基本的にファンドポート普通断層といった立場じゃもうそれはわかってるから、この話はね。さっきね前者と後者の2種類だったけど、コサクの話としては、平均をの中でばらつきがあるから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:23	そのばらつきを見て平均値なんだけど、ばらつきを見越した平均値、
0:58:29	というふうには字取ってるっていうこと。
0:58:32	それ三つがあるね単純平均なのか、全体を平均してみればばらつきを多分見て 厳しいところ見てますとちょっと違う。
0:58:43	規制庁、古作ですけど、私は地盤ごとに平均をとり+ $\alpha$ で計算をしていると。
0:58:53	ということ。
0:58:54	なんですかって聞いた了解了解わかった方だから単純平均化下駄履かした か、それとも建物ここに実質的にやったかというのが簡単に言うと、
0:59:08	はい。
0:59:09	規制庁ことで記載質問事項で言えばそういうところで論なので、ここで原燃さこ れだっていうのを今はっきりして
0:59:18	やったんだから、
0:59:20	はい、日本当初地盤につきましては、エリアごとで平均の方を医療対応にです ねエリア単位のところで平均を中央値として設定いたしましたただ資本中央値 の設定に当たりましては当然ばらつきを持ってございますので、ばらつきに対 しても設定をして、長官の方。
0:59:40	実施しているというところでございます。
0:59:44	だから我々が言った話とまた違う代用案なの。
0:59:49	だから中央値じゃないんじゃ、それだと。
0:59:53	中央値とか平均値とか言ってるけれども、
0:59:56	代用案があるってこと。
1:00:01	さっき、
1:00:02	トガシさんの話だと第4号側に聞こえるんだけど、今我々は三つを提示して三 つから選択しろって言ったんだけど、四つ目の話をしたの。
1:00:16	すみません。
1:00:21	今の三つの中でいきますと、特徴理解としましてもコサクさんは先ほど言われ た三つのエリアがありまして、三つのそのエリアの価格で請求がございませ るので、その三つのエリアの各物性値道を入れることで、エリアごとでウチモト設定 する。
1:00:40	その設定にあたっては各三つのエリアの中の
1:00:44	資料の通り平均値のほうをとりましてそれに対してばらつきのほうも設定して るところでございます。規制庁コサクです。
1:00:57	最後の説明と先ほど言った説明がどうも合わないのて教えて欲しいんですけ ど、平均値を算出するのは構わないんですけど、平均値を用いるテナント計算は 平均値でやってるということになるんですが、最後の説明は平均値+ $\alpha$

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:15	の数字を用いて計算をしています。
1:01:19	と聞こえるんですね。
1:01:21	すいません。どっちですか。すいませんながらですけども、ちょっともうストレートに聞いて聞いてこれでいいかどうか、理解がいいかどうか確認したいんですが、
1:01:32	三つのエリアでそれぞれである程度分布を持ったPS検層のデータをエリアごとに平均化をして、そのデータを地盤の基本モデルとして、
1:01:48	平均値で設定をしたと。
1:01:50	一方で、設計用地震力を出すときには地盤のばらつきを考慮しないといけないので、
1:01:58	設計を地震力を考慮する際は、ばらつきモデルとしてプラマイ湾のそれぞれ振ったモデルを用意して、
1:02:07	それとばねの数値を連動するんですけど、ちゃんと応答解析を実施して建屋まで実施して、
1:02:15	それで設計を地震力を算定するときは、それらばらつきのもうモデルも全部包絡した形で設計を地震力を設定していると。
1:02:26	だから、各エリアごとに設計の基本とするものでは1個ですと地盤モデルは、それに対して設計上の配慮として、ばらつきを考慮して保守的に設定をしていますと、
1:02:42	というのが事実だということで、そういう理解でよろしいですか。
1:02:47	日本にトガシオガセ、今ほど中村さんもおっしゃった通りでございますはい。
1:02:56	したがいまして、
1:02:59	まず、申請対象設備の近接したPS検層の結果と実際のそのエリアの平均値モデルとして設定した基本モデルが
1:03:12	どれぐらい／近いのか、もしくは乖離してるのか、それがプラマイは $\sigma$ の範囲内に入っているのかとか、そういったところはちゃんと確認をして、もし
1:03:28	申請対象施設の位置でのPS検層結果、
1:03:35	が—そのプラマイ湾 $\sigma$ の範囲を逸脱するようなことがあるんだったらどうするかというか、そういうところはちゃんと示していただきたいと思います。
1:03:46	それでロジック上を
1:03:50	先ほどトガシさんの説明にもありましたけど許可値でと基準地震動策定の際に、解放基盤表面の地震動を決めるんだけど、解放基盤表面より上の一応地震動剥ぎ取りをしないと観測記録は解放基盤表面の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:10	もう表面発達して算定できないので、一応基準地震動策定の中では、ほぼ観測記録のその傾向等を考慮して解放基盤表面より上の平均的なモデルとしてはこれで
1:04:28	基準地震動策定上使って問題ないということは許可で確認しているはずなんですけど。
1:04:34	許可で妥当性を確認した範囲等、それからそのモデルを設工認の入力地震動の評価に用いていいかどうか、そういった適用性については、設工認段階で改めて確認しないといけないので、
1:04:50	許可との関係でどういうふうに設工認の中でその保守性工学的な妥当性を説明するのか。
1:04:59	ということはよく考えていただきたいと思います。その上で実際ちゃんとやらなきゃいけないのは、
1:05:08	各エリアの導出構造、地質構造等をちゃんと網羅的に示した上でこれはボーリングを実施したデータも含めてちゃんと複数断面における同質地質図というものをちゃんと作って、
1:05:26	そういうことも踏まえた上でPS検層の代表点というか地点の導出構造もちゃんと不ウノ含めて説明した上でとかく、
1:05:38	エリアのPS検層位置の代表性、それから最終的には平均値として算定した数値の代表性とう位置付けをちゃんと説明してもらわないといけないということで考えています。
1:05:53	それをちゃんと説明していただいたいただく等、
1:05:57	今確認したようなロジックが本当に設工認として工学的に妥当なのかどうかということが占めで示すことができるんじゃないかというふうに思ってます。
1:06:12	ちょっとこういったところを今ストーリーをお話ししましたけど、ちゃんと一連のものとしてデータも含めてロジックをちゃんと確認できるような内容を示していただきたいと思います。
1:06:24	私からは以上ですけど、たくさん増えませんが全部しゃべっちゃいましたけど、何か原燃の方から所管というか、ちゃんとここ私が今求めたようなことをちゃんとできるかどうか、これはいかがですか。
1:06:42	はい、検討してございます。今までの皆さんから御指摘のあったところといったところが、前回浜崎さんの方からもご指摘いただいている事項だと思っております。当社のほうで前回出しているものにつきましてはある意味、
1:06:57	当社で使って、そのPS検層結果であったりですね代表的な断面どのようですけども提示していただいたところで、今ほど皆様方から御指摘のありましたま

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ず地質の現物といったところに関しましては、当社のほうで安全審査等ですね、幅広くボーリングデータのほうを実施いたしまして、
1:07:16	この支出データのほうを策定してございますので、その断面の中で、各通りのところが水平性層であったりですね、傾斜構造がないといったところを示すことによって、まず敷地全体としての水平性層の妥当性であったりそういう部分のほうを示し、
1:07:34	ヨシダというふうに思っております。また各ボーリングのデータから基づきます基本的な物性の与えにつきましても、こちらのほう当社といたしまして三つの地盤モデルに対しまして平均状態行けるといったところもございますので、こちらのほうから、各
1:07:50	建家単位でおきます直下のボーリングデータと整合性が図られているかどうか、そういったところに対しましても、直下のボーリングデータのほうお示しまして、前回御提示している平均値ばらつきの範囲内であるかといったところですね、示していくといったところが必要だというふうに考えてございますので、
1:08:07	そちらのほうの資料のほう、今、準備させていただこうという形のほうで整理しておりますので、
1:08:13	次回以降またよろしく願いいたします。
1:08:26	規制庁姑息です。
1:08:30	よくかみ砕いてまとめていただければと思うんですけど。
1:08:35	今のばらつきをどう考えるかみたいなことについては今のロジックだと何も書かれていないので、
1:08:43	そこの御考え方っていうのは整理をしていただいてそれに対しての設計、補足説明ということでデータをまとめていただくっていうことかなと思うんですけど。
1:08:58	高校生は寸断イメージでいいんでしょうか。
1:09:03	はい、日本旅行でございます。はい。ちょっと言葉といたしますか、書き足りてない部分があることを認識しました。ちょっと今の説明だと、そのばらつきのところが、取り上げたいがうまく説明できてないというところもありますので、資料については修正。
1:09:20	きたものをまた別途提出させていただきたいと思います。
1:09:34	規制庁の名倉です。
1:09:38	今回の平均値的なモデルをある領域で使ってというのは、
1:09:44	これは今までの建設段階の設工認からこういったモデルを使っているという理解でよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:56	業務に当初ございます。皆さんの所通りでございます。建設案2の工認のほうから、当社の設定としましてはこちらのほうの三つの地盤モデルを用いるといったところで平均的なものを用いているっていうところでございます。
1:10:12	規制庁の名倉です。
1:10:14	通常原子炉施設の何岩砕等レバーどちらかっていうとばらつきっていうのは平均からのばらつきをなんていうのがあるって、もう領域で平均化するというよりも、
1:10:30	各地点ごとにとその層区分ですね速度層区分をちゃんと地層を見た上で地層ごとにばらつきがあつて。ですからそういう意味で申請対象もしくは評価対象の
1:10:48	施設の直下の地盤に対して、それと整合する基本モデルとばらつきモデルがあるというのが通常の今まで私どもが炉の審査をしてきた中で確認しているような主なやり方です。
1:11:04	それとは今回違った再処理施設はそうやってきたんだということかもしれないんですけども。
1:11:10	そういったところの妥当性に関して、
1:11:14	これはあの1回建設時の設の設工認において、認められてはいるんだけれども、これに関しては今回やはり、工学的に本当に妥当なのかっていうことに関しては、
1:11:30	やっぱりちょっと確認をちゃんとしないといけないのかなと思っています。
1:11:34	そういう意味では可能既工認意識設工認の
1:11:40	判断を否定はしないんですけども、やはり今回はこの地盤モデルを使うことの特異性に少し任さ教育もたくさんいられてると思いますので、そういったところをちょっと着目した上で、現状の妥当性をちゃんと確認していく必要があるかなと思っています。
1:11:59	ですから、もうそれは規制側に認められているから、そんな説明しなくてもいいんですけどっていうことは言わないでいただいてちゃんと説明をしていただきたいと思います。
1:12:10	いかがでしょうか。
1:12:14	日本原燃高橋でございます。ナガオさんも御指摘の中身を理解いたしましたので先ほどもございましたけども平均的な地盤といったところに対しまして、建屋の許可ボーリング等との対応関係等に関しまして、ご提示等もさせていただきます、この部分の
1:12:32	我々の中央値を用いているところの妥当性といったところに関しましては示していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
1:12:46	規制庁の名倉です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:48	まずはちゃんと評価対象施設の直下の直下その近接した。
1:12:56	この地盤のPS検層とかの結果がどれぐらいその平均値。
1:13:02	当乖離してるの乖離してないのか。
1:13:05	そこら辺をちゃんとまず示していただくことが重要だと思いますので、こういったデータはなるべく早めに示していただきたいと思います。
1:13:13	以上です。
1:13:19	上下動詳細評価いたしました。
1:13:38	規制庁津金です。ほかコメント等ありますでしょうか。
1:13:43	規制庁ハバサキです。コメントになってしまうんですけども、先ほど権利のオオクボさんからありましたけれども今この部、今回出されて基本ロジックこれ書いてあることは間違いではないというふうに認識してます。ただ、先ほど来よりあったように、
1:14:01	非常にいろんな解釈はできてしまって、聞いているこっち行ったりしてしまうってこれはこれから説明がある耐震の本当に元になるロジックといえますか基本条項なんで、今日の議論を踏まえてですね。
1:14:18	平均化の話だとかどのエリアの話を西どういう考えて代表まずは決定してとかですね、この基本ロジック今回で終わりではなくてですね、もっとブラッシュアップをして正確に丁寧にロジック。
1:14:36	それをまず骨子として作っていただいて以降の説明は、この部分に対してデータを用いて説明しますというような流れ、それを進めてもらいたいというふうに考えます。いかがでしょうか。
1:14:52	日本原燃横尾でございます。おっしゃる通りですね、書いた文章で多分読み方によって解釈が変わってしまったりは、ロジックが変わってしまいますので、そのこの、この3点については、こういうことだということが読み手によって変わらないように、しっかり
1:15:11	詳細化といえます表現も含めてブラッシュアップをさせていただいていただきたいと思います。
1:15:21	河原木です。私からは以上になります。
1:15:31	規制庁津金です。他、よろしいでしょうか。
1:15:40	それでは、続けて、液状化のほうの基本ロジックについてコメント等ありましたらお願いします。
1:15:56	規制庁カミデです。すみません、これも先に説明をいただいたのかもしれないですけど、許可の段階でどこまで確認していて設工認はどうかの話なんかとといったといった点ちょっと許可との関係を少し説明してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:16	日本原燃の郷でございます。許可の段階では、まずその建物の評価をするにあたって、
1:16:25	岩盤に直接またはマンメイドロックを介して支持されているということでここは周辺地盤の性状の変状の影響を受けないということで、ATENAの底面については、
1:16:42	そういう岩盤に設置するというので強化のほうでは記載しておりますで周辺地盤につきましては、この液状化に関して細かいところまでは許可の段階ではうたっておりませんが、地盤の安全性評価の中で、地下水の設定というふうに記載をしておりますのでこの値
1:17:02	次の設定については、保守的に建屋基盤上端に設定してこの評価をやっているということで、周辺の地盤が記録はしないことを前提に評価を実施して許可段階では実施しているということでございます。
1:17:21	以上です。
1:17:25	規制庁カミデです。
1:17:26	あとこの地下水排水設備っていうのが許可上どういう説明具体に出て来ないと思うんですけどその泥流関係にあったかっていうのも説明してください。
1:17:41	日本原燃の項でございます。許可の段階です。具体的にはこの地下水排水設備について具体個々個別の具体的な名称は出てきませんが、この敷地の水利の関係で、地下水が地表の
1:17:59	2メートルから3メートル程度、それから周辺に向かって低くなっているということで、地下水が期間の水面があるということもスリーの調査をしているところだということでございます。それに対しまして、建物の評価ではその地下水の水位を
1:18:16	基礎の底面よりも上限よりも正下に設定して
1:18:22	液状化しない前提で建物の評価をするという整理をしておりますのでそこは間接的ではございますけれども、地下水の水位を低下させるということを前提に設計するという。
1:18:36	あと、
1:18:38	でございます。
1:18:42	規制庁カミデです。その地下水排水設備は、Ss機能維持というような説明ですけれども、この考え方についてもその耐震設計の基本方針について重要度分類とかそういったところとの関係を説明してください。
1:19:03	日本原燃大久保でございます。地下水排水設備につきましては、もともと既認可の方で配置等を示した図面は、進めておりますけれども、明確に個別の説明書なくて、こういうものだということまで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:20	方針的には記載しておりますが書いてございませんでした。それを踏まえて今回建物の設計をする上で、引間周辺の地盤が液状化しないということが例えばも設計の前提条件になっておりますので、建物の健全性を示す上では、
1:19:37	液状化しないことが前提になるということで、その
1:19:43	基準地震動 700galの地震が
1:19:48	ある前に壊れてしまっはそこが意味がないということになりますので、
1:19:55	その 700galの地震がある前にどれほど自信があるかというところは、算定できませんが、700 ガルより小さい地震で壊れないようにこうすることで、Ss機能維持をかけた 700galの地震が来た際にも
1:20:11	地下水の水位を必要な高さまで保持必要な高さで工事局という事という設計貢献というふうに考えております。
1:20:24	規制庁上出です。ちょっと説明がよくわからなかったんですけどまずこの設備の耐震クラス等っていうのは、Cクラスで整理するっていうことですか。
1:20:38	日本原燃の久保でございますはい耐震クラス 10 耐震重要度分類としては、Cクラス、
1:20:45	ですね、男性はちょっと違ってて、そもそも評価に出て設備名が出てくるんだから耐震クラスなんかないんでしょう。
1:20:55	これ施工認で改めて地下水位を下げるものとして、設計をウノするっていうだけで許可との関係は地下水低迷を下げるっていうところとの関係でしかないんでしょうか。はいそうです。だからさ、耐震設計の重要度分類クラスは許可でやってるから許可が出てこない設備は耐震クラスないんでしょうか。
1:21:18	はい。ただし、当然ねSCCをどうやってもらわないと駄目だよっていうだけなんじゃないの。
1:21:26	すいません。規制庁コサクですけども、設工認の中でも耐震重要度いう場所があるのでそこで追加するっていうのはあっていいと思います。
1:21:52	日本原燃の久保でございます。借り換えとるように許可等の設置、関係を踏まえると、また新クラス数重要度分類という意味では甘くて、教タジリ京都として施設機能維持をかけると。
1:22:08	いう
1:22:10	効果とかなというふうに思います。
1:22:17	規制庁カミデですを、この辺り実用炉でもう実例があったと思うんですけど例えば柏崎とかだという設備分類上の扱いとかがどうなってるか調べたりしますとか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:34	上の行でございます。柏崎の例で申しますと、ましょだけの夏7号のこのサブドレンポンプといえますか、地下水の排水設備については、耐震AとCクラスでSsの機能維持がかかっていると。
1:22:52	いうことで申しました。一方で、5号機につきまして、
1:22:58	耐震重要度分類のクラスでSsの機能維持を図っていると。
1:23:03	いうことを確認しております。
1:23:14	規制庁カミデです。
1:23:18	そうすると、この再処理の場合ってというのは、ちょっとどちらで整理する方針ですか。
1:23:50	日本原燃の久保でございます。
1:23:53	もともと先ほども説明の中にちょっと申し上げましたが、建物の健全性を維持する上での前提条件になるという表現を申し上げた挙げましたので、建物の附帯
1:24:10	そんなものだということはいわゆる綺麗んすにおける耐震重要度分類SBCというクラス数往復するよりは、ノンクラスでもSsの機能維持をしっかりやるという整理が、
1:24:26	よろしいんじゃないかと思っておりますがいかがでしょうか。
1:24:31	規制庁かミスそうすると、今回設工認での耐震の基本設計方針上の扱ってかというところに、この設備は反映されますか。
1:24:57	日本原燃の久保でございます。まず耐震設計の基本方針ですね、
1:25:03	そちらのほうに記載するということは当然だと思っております。
1:25:09	同じでしたっけ。
1:25:21	後ですねちょっとすみません
1:25:24	設工認においては、
1:25:27	期末排水設備といえますか支度ドレンポンプが該当しますけれども、どれぐらいの排水能力があるというところは、機能として示す必要があると思っております、潜航発電炉の実績を見ましても、基本設計方針の中ではございますが、
1:25:45	予定だとか、どれぐらいの出力があるというところは、
1:25:51	この容量ですとか、羊蹄原動機の出力等の記載が、基本設計方針の中でうたわれております。当社の再処理施設もくそもそうですけれども、所有の機能を示すような
1:26:07	来様子示すようなものについてはましよう状況に書いて整理をするという方向で整理をするべきだと思っておりますので、ここは仕様表にも、この機能性能ですね、こうしようとして記載すべきかなと考えております。
1:26:28	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:31	規制庁カミデです。今日は鍵まわしと。
1:26:35	コンプレッサ設備リストというものを作ってもらってますけど、地下水排水設備はそこにも追加されるということですか。
1:26:48	日本原燃の久保でございますはいその通りでございます。
1:26:53	件ですね、今設備の施設工認対象設備の選定っていう話で、別途ヒアリングで話を聞いているところですけど、結果的に今回申請書
1:27:10	一旦出してもらったものに追加のものが出るということなので、その点選定作業の方へこの事例のどういった点を水平展開するのかっていう点をちょっと説明してください。
1:27:37	日本原電の項でございます。
1:27:40	まずこの蓄圧排水設備が明確に個別の機器名称として、今申請した申請書では読み取れないという状態でございます。で、申請書の中では基本設計方針の中で、個別名称出さない中で、
1:27:57	グレード分けをするという分類の中に入れておりましたけれども、あそこを試供すべしすべきというところも整理再整理をしなければならないということだと思っております。そこがちょっと不足していた部分でございますので、
1:28:15	今回設備の選定につきましては、それぞれの私のほうの整理の中では表裏示すグレード1と基本設計方針の中で、個別に機器名称整理するグレード②の
1:28:31	機器名称示さないグレード②-bという3分類をしておりますので、そのグレード分けの整理の中で、バラつきはあったということをちょっと恐縮でございますけれども、整理の中で、うまくできていなかったところと、
1:28:47	いうところをそれはまさに今、設備身体の方で対応して整理を再整理をしている部分でございますので、設備選定のほうでそこを改めてそういう整理をしっかりやることで、今回の二つ排水設備についての具体的な事例ということで、
1:29:06	話を実際に社内でもうすでしておりますので、そういうことで水冷展開も含めて対応したいと思えます。以上です。
1:29:17	はい、規制庁カミデですと
1:29:20	設備の説明、所については今日の資料ではないですけど、グレードに各グレード2Pdかの分岐点のところのステップ5っていう分けるところがあると思うんですけど、そこを
1:29:38	その作業で作業感度の所感なのかあれですけど、判断の違いが出てしまうっていう事例だと思うので、その点どういう手当をされるのかというのは、そちらの方のヒアリングでも確認したいと思いますので、
1:29:55	説明の準備をお願いします。
1:30:02	日本原燃の久郷でございます承知しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:10	カミデですが、私どものとりあえず以上です。
1:30:25	はい。
1:30:26	規制庁の名倉です。
1:30:28	ちょっとこのロジックに関して、
1:30:32	確認したいことがあります。
1:30:35	私のほうからちょっと確認したい項目っていうのは、
1:30:40	項目これ今、3項目記載をしていますけど。
1:30:45	その三つ目のどうどう等竜巻防護ネット支持
1:30:50	構造物の杭構造、
1:30:53	のことを一応今、三つ目の項目で記載してますけど。
1:30:58	これらは、
1:31:01	すいません私の解釈でいくと。
1:31:03	側面地盤が液状化しても構造物の耐震性を確保できる設計
1:31:09	すなわち液状化の影響を考慮した設計をすべてしているというふうに理解します。
1:31:15	何でこういうことを言うかって言う等へと周辺の地盤改良を実施しているから液状化の影響を受けないんだよっていうのはそれは理解できるんですけど。
1:31:26	その液状化対策の妥当性も含めて、液状化の影響を考慮した設計の一部だと思えますので、
1:31:35	そういったところは一応ちゃんと書いていただきたいと思います。
1:31:42	いかがですか。
1:31:44	日本原燃の宮本です。承知しましたそこら辺の影響の考慮してですね、計算やってますんで、その辺は記載を追加させていただきます。
1:31:55	私が言いたかったのは、
1:31:57	液状化、地下水位を下げるから液状化しないようにできるっていうのはそれは事実ではなくて、地下水位を下げることによって、液状化の影響軽減しているだけではだけだと思います。
1:32:14	地下水を下げても、地下水より下に液状化対象層があったらそこは液状化はするんです。
1:32:22	液状化する可能性は否定できないと、それが建物構築物立ても建屋等、あと土木構造物埋設物等の周辺地盤にそういうもの地盤が液状化対象層があって地下水以下であれば、
1:32:38	それは何らかの影響を及ぼすとでその影響を及ぼした状態を考慮しても、施設が丸裸で大丈夫なのか、それとも周辺を地盤改良してるから大丈夫なのか、そういうところをしっかり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:53	設計として示していただく必要があるんじゃないかなと思っています。
1:32:58	こういう認識で今後いろいろ資料を提示していただけるという理解でよろしいでしょうか。
1:33:07	日本原燃方向でございます。この記録資料につきましても先ほどの地盤の資料と同じようにですね。ロジックとして、まあ解釈によって取りかかるというようなことにならないようにですね、今ほど御指摘いただいた部分も含めまして、
1:33:25	資料をブラッシュアップしてそれにそれを踏まえた補足説明資料なり、設計根拠データをお示しするというところで進めさせていただきたいと思います。
1:33:37	規制庁の名倉です。すいませんあと1点重要なことをお聞きしたいんですが、
1:33:42	道路等を建屋の周辺の構造物に対して、実際に地下水位を設定すると思うんですけど。
1:33:57	5 労働到達建屋周辺の構築物の設計で使う地下水っていうのは、
1:34:06	ここで言うところの地下水排水設備の機能に期待した水位を設定しているのか。
1:34:14	それとも、こういった地下水排水設備の機能に期待しない、すなわち、
1:34:20	機能を停止した状態で水位がどこまで上がるのかでそれを踏まえても保守的な推移を設定して液状化対策もしくは液状化影響評価をしているっていう理解でよろしいでしょうか。
1:34:34	一言で言うと、
1:34:36	屋外の土木構造物の設計、設計にあたって、地下水排水設備による地下水の抑制の効果を期待していますか、いせんかということなんですけど、いかがですか。カメラをここでございます。本労働につきましては、地下水排水設備の効果は期待しておりません。
1:35:00	規制庁の名倉です。
1:35:02	竜巻防護ネット支持構造物については、
1:35:08	当杭基礎竜巻防護ネットのほうにつきましても同様にきていないということでございます。おりません。はい。
1:35:17	それは今後どのように示すつもりですか。
1:35:28	日本原燃のミヤモトですかの地下水データについては今ちょっと取りまとめ中でございます、ここに記載の通りですね、今、TMSL41.1 から 54.3mという比較的高い水位のところもあるんで、堂々とかにつり等と確認については、
1:35:46	と地表面で設定させていただいて、地下水のデータはちょっと参考に参考というか、補足資料にですね、データを示す形でですね、記載もさせていただきたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:01	規制庁の名倉です。このところはちょっとよく丁寧に説明していただきたいんですが、地下水が41.1メートルから54.3メートル来ても少し高い推移で幅があると。
1:36:16	ということかもしれないんですけども、
1:36:19	これが実際今回の申請対象設備も含めて、どのように地下水っていうのは、今までデータが得られていてどういうふうな分布を示しているのかというのはちゃんと示していただいた上で、
1:36:34	あと設計上をじゃあ地下水排水設備に期待しない液状化の影響を考慮した設計をしているものについては地下水位は地表面とか保守的にこれは設定をしているとか、
1:36:48	そういった実際の地下水の分布とそれに基づく設計用地下水の設定をどうしているのかということに関して少し網羅的に少し整理したほうがいいのかと思っています。
1:37:04	少し安心したところは、こういった液状化の影響を考慮する対策を考慮した対策を実施しているもしくは液状化の影響を考慮した評価を実施しているものについては、
1:37:17	地表面に、
1:37:19	推移を行った上で液状化の評価、影響の評価をしているということで理解しました。
1:37:26	なんかそこら辺をですねちょっと液状化のロジックのところにはちゃんと記載をさせていただきたいと思います。で、その場合は一番最初の周辺地盤が液状化しないものとしてってのはちょっと
1:37:41	言い過ぎだと思うので、そういう意味では液状化の影響を考慮した設計、もう物によってはちゃんとしているということで、もう少ししっかりとですね、対象ごとにロジックをちょっと整理していただきたいと思います。以上です。
1:38:01	日本原燃の項でございます。液位LOCAに関して設計条件、それぞれの建物と洞道或いは杭についてどういう設計条件で設計をしているかということと、あと敷地内の地下水に関する観測データを整理しており、
1:38:16	おりますので今後、補足説明資料でお示しさせていただくと、それも踏まえて、先ほど申しました。建物をどうの設計について、どうい
1:38:28	う条件で評価してるかということはこの基本の軸の中で明確にした上でお示しさせていただくということで進めさせていただきたいと思います。
1:38:43	設置しておコサクです。今の件で私が理解しきれないだけだと思うんですけど、大きく分けると出荷推移
1:38:55	排水設備を設置して下げている建屋、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:01	というものと、
1:39:03	そうでないもの。
1:39:05	そうでないものの、ここで具体的にしているのが堂々周辺と、
1:39:12	飛来物防護ネット区域層でやってるもの。
1:39:16	ということなんですけど、そちらのほうは、地盤改良ができるものできないものと今分けて書いてあるんですけど、基本は液状化を考慮した設計でしょうか。
1:39:32	という言い方ではあったんですが、
1:39:35	地盤改良できていると評価しているところについての評価等、
1:39:41	できていないとしてるところの評価に何か違いはありますか。
1:39:51	女の子でございます。地盤改良ができているところの評価特に道道につきましてはどのような断面を評価する上で埋め込まれている周囲からの増厚がそうかも条件になりますから、炉圧がどうにかかると。
1:40:11	ということが前提になります。一方で、液状化する場合ということに関しては、その動圧が軽減されるということを軽減といいますと数字が小さくなるという方向になりますので、その両方を設計段階では評価をしていると。
1:40:29	いうふうに
1:40:32	結構整理できるのかなと思います。
1:40:35	規制庁コサクです。それを両方やってますか、片方だけにしていますかという質問なんですけど。
1:40:48	日本原燃の小野でございます。
1:40:50	液状化の可能性もあるところにつきましてはですね、有効応力解析を実施しようと考えております。
1:41:05	規制庁コサクです。ですから紙違いを設けているわけですね。
1:41:10	その違いが適切だと思いますかっていうことが今、十分議論できたかどうかからなくてですね。
1:41:20	結果、いわゆるは前回のヒアリングでもコメントしてあって、
1:41:25	地盤改良の有効性として範囲とかどう考えてますかっていうことにも関わってくるんですけどそのあたりに評価をどうするんだっていうことでもあります地盤改良とかの幅とか、いろいろとフルード強度問題ないかというご質問前回もあったかと思うんですか、日本原燃のミヤモトであったと思うんですけど。
1:41:43	その辺ですね、またこれは補足資料で地下水と一緒にちょっとまとめさせていただきたいと思っておりますんで、それは今まで規制庁対策です補足的に作っていただいているのはわかってるんですよ。はい。話がここのロジックにどういふふうに見えるかっていうことを聞いてるんです。
1:42:02	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:04	はい。
1:42:10	規制庁の名倉です。
1:42:12	私の認識では、先ほど
1:42:18	液状化対策をしたものと、
1:42:21	地盤改良したものと対策をしていないもので何かこう差があるようなことがあるかっていうことに対して、どうもイエスという方向で進めて議論が進んでるように感じるんですが私の認識としては、
1:42:41	ものすごく分厚く駅地盤改良してあるところは論外かもしれないけれども、部分的に地盤改良して対策をどこしてる部分に関しては、
1:42:52	これは
1:42:55	対策をしているものとしていないものは区別がなくて区別がないというか同じように有効応力解析等をした上で、
1:43:04	周辺地盤が液状化したときに、
1:43:09	地盤の改良をしているところ、地盤改良度がちゃんと健全かどうかということも含めて、かつ地盤改良をしている地盤を介した動圧が堂々に採用することもちゃんと考慮した上でどう評価すると。
1:43:27	ということになると思うんで、そういった液状化の影響を考慮した設計ということでは区別がないっていうふうに私は見てるんですけど。
1:43:38	それをやることによって、地盤改良等の対策の妥当性もしっかり説明できると思うんですが、
1:43:45	今そういうことは考えていないという理解でよろしいですかそこはちゃんとやるというふうに聞こえたような意味も感じるんですがいかがですか。
1:43:53	すいません。ちょっと言葉不足だったんですけど、基本的にですね、我々、
1:43:59	建屋と。
1:44:01	例えば考えだとか、どうどうについては、基本的に地盤改良されてるものですから、全応力解析も基本としております。ただですね、イナムラさんがおっしゃった通り、地盤会でも外殻とか地盤改良がないといけない所戻しのだというようなところについては、
1:44:17	有効応力解析を実施して、液状化の影響検討を実施しております。すいませんちょっと言葉足らずな面でのミヤモトである。
1:44:27	規制庁の名倉です。規程直角
1:44:30	どうぞ。
1:44:34	すいませんコサクさんどうぞ。
1:44:37	規制庁の古作です。それは皆さんがそうやっていることはわかった上で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:43	改良しているからといって、その周りの液状化についてを考慮しなくていいということではないから。
1:44:53	そこを考えるにあたっては、大きな差はなくなってくるだろう消火内容もそんなに変わらないじゃないかっていうのが名倉さんが言われたことで、私もそう思っています。
1:45:04	一方でその部分をやらなくていいと皆さんが思っているということなので大きな論点ですよとだけまずは思っていて、
1:45:13	気体まずそれは理解していただきたい。
1:45:17	その上でどうするかっていうのが、検討事項だと思います。
1:45:24	規制庁の名倉です。
1:45:26	コサクさんの言ってることの趣旨は理解できました。
1:45:31	そういう意味では原燃のほうで地盤改良をすることによって液状化の影響が及ばないということの判断基準とか、じゃあ影響が及ぶものに対してはどういうふうに影響評価をするのかとか、
1:45:50	そういったところを、先ほどちょっと説明の中で、どういう手法を基本的な手法にするのかっていうことも何か説明の中に含まれてたんですけど。
1:46:01	そういうふうな設計体系の中で要素としてどういうふうな解析手法をやるかということも含めて、そういう意味で液状化による影響を考慮した設計の中で何を対象にして、どういう手法を適用するのか。
1:46:19	それが液状化対象層と地下水との関係で、どういうふうに液状化の影響を受けるかというところのすぐまくその考え方をスクリーニングして全体体系を説明して、
1:46:35	いただくということがまず共通の理解を形成する上で必要なと思いますので、このところはちゃんと示していただきたいと思います。
1:46:46	古作さん全体をまとめるとこんな感じになるんでよろしいでしょうか。
1:46:51	規制庁価格です結構です。
1:46:54	前理解できました日本のほうですということですか。承知しました解析方法設計方法、自分改良ありまして、その辺の設計体系をちょっと言っとか解析手法を整理させていただきます。
1:47:08	了解しました。
1:47:18	規制庁つのレース他コメントありますでしょうか。
1:47:31	よろしいでしょうか。
1:47:34	それではですねヒアリングが始まって約2時間になりますので、一貫休憩を挟ませていただいて、
1:47:40	15時30分再開としたいと思います。よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:47	日本原燃大久保でございます承知しました。
1:47:50	それでは一旦休憩に入ります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	今回します。
0:00:03	はい、規制庁詰まるです。それでは、ヒアリング
0:00:07	再開いたします。
0:00:09	続いて議題には耐震関係のヒアリングについて2月2日に提出のあった資料について説明だと思いますが、
0:00:17	日本原電のほうから資料の数が名だけ説明していただけますか。はい、日本原燃沢です。
0:00:26	はい。
0:00:27	資料が題名としましては耐震評価対象の網羅性、既設工認との手法の相違点の整理についてについて説明したいと思います。
0:00:37	そのまま定着ウノちゃってすみません。はい、提出時期を各国それぞれ発言してください。
0:00:45	提出時期です。
0:00:50	はい、わかりました。
0:00:52	はい、資料番号は耐震建物01のある位置で提出年月日が例は3年2月2日となっております。
0:01:11	規制庁ツガネです。一応ですね、説明資料説明なんですけれども、すでに提出された資料割れ目としますもので、これに関して、こちらからの的にこれとして対応していただくという形でもよろしいでしょうか。
0:01:27	はい、よろしくをお願いします。
0:01:30	きちつとツガネです。それでは最初に耐震評価対象の耐震評価対象の網羅性、既設工認との手法の相違点の成因について、これR1の資料について、コメントありましたらお願いします。
0:01:47	規制庁カミデです。これは前回指摘を受けて改定されているということなんですけど、ちょっと前回ですね、資料の適用範囲というか、そういったことを整理してくださいと。
0:02:04	お伝えしてるんですけど今回の資料見てもですね、基本的に設計基準に対する説明が主な内容かのように見えるんですけども、小さい15ページとかを見るとですね。
0:02:20	1.2Ssの話があったりしてやはりどの条文のセットの設計方針に対する説明なのかというものがまだ十分整理された内容でその点、
0:02:38	整理して再度提出するようにしてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:45	はい、日本原燃沢です。ご指摘の通りとなっておりますので1項のところをしっかり工事会であれば次回ということを書かせてもらった上でお示ししますすいませんでした。
0:02:55	修正します。
0:02:59	はい。
0:03:00	規制庁カミデです。続けてですね、
0:03:05	今後の説明項目ということで、
0:03:08	今回の申請で説明することと、次回で説明しますということについて、1ー添付6あと添付7というところで表現されてるようなんですが、
0:03:23	ちょっと資料が非常に見にくくてですね、今回の説明はい抵抗次回の説明は終わりというものがなかなか明確に読めて読み取れないので、説明を
0:03:38	加えるなどをしてですね少し明確化するようにお願いします。
0:03:46	はい。
0:03:47	日本原燃サガワです。すいませんわかりづらくて一応ですね、ちょっと解説で修正はします、一番左に16ページに書かせていただいた機器配管系の添付6につきましては、わかりづらかったんですけども、第1回申請対象という言葉遣いにしてしまいましたので、ここは第1回の中でしっかり説明しますっていう範囲ですっていうことがわかる。
0:04:07	記載します。次回以降ってところも同じように第2回以降とは書いたんですけども、ここはわかりづらかったので、修正します。
0:04:16	はい。日本原燃のお示しする建物構築物につきましてちょっと御説明をさせていただきます。OpenFOAM28ページ、29.1のところの添付7というところでは建物構築物の説明につきましては表でお示ししておりますけれども、こちらのそれぞれの表のですね、一番左に申請感じと、
0:04:33	誘起推論を設けさせていただいておりますこちらで第1回出てくるものが一番の二つ原料加工建屋と冷却水冷却塔というところでそれぞれ出てくる保険というところは整理させていただいております。まずどうか以降のものにつきましては下に申請回避の兄さん工夫てるところで並べさせていただき、いただきまして、これにつきましては、工事課、
0:04:53	すみません、出てくる論点というところになっております。こちら富子申請のところで黒丸に持っているところがございますけれども、これは今回、御説明をさせていただく運転手が論点で説明事項となっております白丸となっているもの、これにつきましては次回申請で第1回でご説明しているものと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:12	内容考え方については違いがありませんので、それにつきましては資料の提示をさせていただくというように考えているというものでございます。御説明以上です。
0:05:25	規制庁カミデですと、例えば 26 ページで言うと、第 1 回申請対象で、今一番上の提出資料が網羅性手法の相違点の整備についてという。
0:05:43	提出資料バーツで第 4 次のページの第 2 回申請のところでも同じ提出資料があって、
0:05:56	海洋という形なんですけど、ちょっとポイントとしてですね、どういう項目が取り残されるのか、基本的には第 1 回申請で
0:06:11	ほとんどのものが説明されて所んところは、も補足的に幾つかと私はイメージしてたんですけど、そういう形ですね、1 回でこの範囲説明して、
0:06:28	後ろに残るのはこれだけですよというものがきちっとわかるように、ちょっとポイントを絞ってわかるように、説明いただければと思うの資料のほうに返していただければ。
0:06:43	はい、日本原燃サガワです。了解しました資料のほうをもう少しもっとわかりやすく修正します。すいません。
0:06:49	日本原燃の水素計画の構築物につきましても了解いたしました。それがカミデとおっしゃってました通り、建物構築物に関しましては第 1 回で伊方の論点というところは説明可能というふうに考えておりまして、表があります地震観測のシミュレーション、こういったものが今回のこのところになっておりますので、そういった所大会どこまで
0:07:09	第 2 回はどこにどれが残るのかというところがわかるように資料のほうはちょっと作らせていただきます。以上です。
0:07:16	はい、規制庁ろ過水建物のほうだと 28 ページなんですけど第 1 回申請でまるまるなり参画なりつい系、とくに丸のところは、第 2 回申請の方でも同じような趣旨があって、また同じ説明が繰り返し、
0:07:36	ていうのかなというように思う決定しますので、ちょっとその辺を、おそらくそうではないはずなので、わかるようにしていただければと思います。
0:07:48	はい。日本原燃の中にそういった今の件、すいません資料のちょっと備考が段取りが小さくて申しわけありませんでしたが、一番上の凡例に書いております通り車につきましては、いわゆる発電長のものということでヒアリングできちんと御説明をさせていただきます。当然資料も出します。
0:08:04	資料の白丸だったりして欲しいなったりというものにつきましては、先ほど申し上げました通り大会で説明が指摘ありまして、その考え方と、工事でのやつってというのは考え方は変わりませので、資料の提出の予定しているという

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ここで改めて詳細は説明というのを予定しているわけではないというところで資料を作らせていただいております。以上です。
0:08:27	規制庁紙その後表等作り方図書もそういう形ではいいと思うんですけど、何が残るのかっていうポイントは明確に説明するようにしてください。
0:08:40	接続機器決定する規制庁コサクですけど、今の点でちょっとわからなかったの で教えて欲しいんですけど。
0:08:50	粉末槽、今の説明の関係でよくわかんないのが、
0:08:57	と左カラー四つめの解析モデル及び手法の比較というのは、
0:09:04	全部が黒丸みたいな感じになってるんですけどこれは全部が個別審査項目だ ってということなんですか。
0:09:14	はい。
0:09:15	日本原燃もあわせてこちらの解析モデル及び手法の比較というものにつつま しては、今後の内容も御説明むんがあるところではあるんですけども、建家 によって整理しているものであります法律とかそういったものについては異な る場合が頭にございますので、そういったものにつつましては、きちんと建屋ご とにという考えでやっているかというところ。
0:09:34	これをちゃんと説明のほうさせていただきたいと考えているものでございます。
0:09:38	規制庁コサクですけどそれを類型化して、どれが代表できるのかっていうこと だったと思うんですけど、これだと全部説明だとしか見えないので、そこをちゃ んと整理してねってということだと思います。
0:09:57	上下動詳細なご指摘のところを踏まえまして、基本的による解析モデル等にお きまして先ほど掲げましたように、ある程度類型化のほうができて参ります ので、そういうところで
0:10:11	この部分に関しましては普通のような考え方っていったところに関しては類型 化がわかるような形のほうで資料のほうは再度まとめ直せと思いますので、よ ろしく願いいたします。
0:10:23	規制庁不足ですよろしく願います。それとですね、途中凡例のところで書 いてある。
0:10:33	都市、
0:10:35	資料提出のみを予定とか、
0:10:38	ていうところもなんですけど。
0:10:40	資料提出って何の資料だと思ってるのかによってなんですけど、細かな説明。
0:10:49	エビデンスを一隻出してもら必要はないと思ってそれも類型かでの説明の
0:10:57	慶弔だと思ってたんですけども、一体その資料提出ってどういうことを考えてお られるんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:08	逆に言うと、
0:11:11	代表のものについての資料提示が少なすぎるってということかもしれませんけど。
0:11:16	それも含めてちょっと状況を教えてください。
0:11:22	40年当初でございます。こちらのほうの資料といたしまして基本的に資料提出をさせていただいているものにつきましては第1回目とかです。基本的な方針といったところをご提示させていただきましてその結果、
0:11:37	層厚になってですね、以下、同じような形のほうで計算の取りまとめといったもののみであるものがございまして、そういったものにつきましては、その更新のつた結果と解析結果というような形のほうで各建屋においてどのような結果になってるのかといったところを示すという位置付けのもので、
0:11:57	資料提出のみというような形のほうをさせていただいておりますので、そのやり方は基本的なその経過によって実施されていて、その結果のみを指導としてまとめさせていただいたところで整理させていただいているものになってございます。
0:12:15	規制庁コサクです。わかりました。同じように資料提出するというのではなくて代表で説明した上で、類似のものは、こういったものを提示しますということまで明確になりますそれがその部分だけが
0:12:30	一石出てくるっていうふうに思えばいいですね。
0:12:35	それは基本的にはそうでございます。評価結果のみが出ていくといったところでございます。
0:12:42	議長コサクです。それでしたら第1表の説明のときに、その後のやつをどうする。同定実績のついていうこともあわせて説明するようにしていただいて、基本的にはそういったことがわかるように、
0:12:58	添付書類の計算結果のまとめ方針というのをフォーマットなり提示してくださいっていうことをお伝えしてましたので、それに付随した補足の考えですね、補足については1件一葉じゃなくてもこれとこれとこれは、
0:13:14	前に出したこの補足のものの通りですとかっていうひもづけとかでもいいと思いますので、いかに見やすく合理的に求められるかっていうのは検討いただければと思います。
0:13:30	はい。日本原燃の橋です。ただいまの御指摘をよく理解いたしましたのでそのように、ここまで行きます補足説明資料、また今後のダム管理してく出てきます補足説明資料につきましては主従の関係みないなところもあると思いますが、それぞれの出し方につきまして工夫しているわかりやすいようなものをお出ししていくようにさせていただきます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:56	規制庁カミデです。
0:14:00	もう1点をページ目のところなんですけど。
0:14:04	交通の機械関係のところでも前経営上のコメントであり間標準支持間隔 効能配管径の仕様ごという文言についてなんですが、
0:14:20	この配管系の使用っていうのか、本文の主要表等々どういふふうに対応する のか、例えば仕様表の使用表というの設備単位で系統単位で出てくるんです けど、それぞれに標準支持間隔表を出すということの中で、
0:14:41	それとももうちょっと大きくくった範囲で支持込むか目標を提出するのかという ことのちょっと考え方を説明してください。
0:14:52	はい。はい、運用原燃さんある種、ただいまの御指摘に対しましては、前日も 口頭で答えまして資料2 今期落としてなくて申し訳ございませんで配管の評価 結果につきましては、建屋の配管仕様をとっていうことを出していくことになり ますので、
0:15:09	そこと本文に書かれる配管の仕様との関係性をしっかり書くようにします。
0:15:16	はい。
0:15:19	規制庁上出です。どの建屋に設置されているかっていうのも仕様を表を記載 対象でしたっけ。
0:15:29	少々お待ちください商標側なのでちょっと許認可側のほうから、
0:15:33	配当します。
0:15:41	規制庁コサクですけど設置位置ってというのが記載実効になるので、
0:15:46	入りますよ。
0:15:49	カミデすみません、ちゃんと確認せずに、そういう意味でいうと設置位置を見 て、その中のグルーピングのものが出てくるということで、使用表と。
0:16:07	標準支持間隔表の対応が確認できるものと理解しておきます。
0:16:16	はい。
0:16:17	基本的にはここがございます。はい。その理解で結構だと思います。
0:16:23	はい、わかりましたカミデ会はとりあえず以上です。
0:16:27	規制庁コサクです。サガワさん理解していただけたと思いますけど、この記載 だと建家ごというところがわからないので、それは追記をしておいてくださ い。
0:16:39	はい。はい、全面サガワですすみません配慮が足りませんでした申し訳ござい ません修正します。
0:16:54	規制庁津金です。ほかコメント、
0:16:57	いますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:59	規制庁の古作ですすいません建屋音と漠とってしまいましたけど、その後ろに階層ごとってというのが書いてあって、
0:17:08	確かに階層が違えば、それぞれ違うので、この階層ごととその前の資料 5 と。
0:17:18	ということの関係性でもう少し明確になるように、
0:17:23	図ればということ理解すればいいですかね。はい、この辺のサガワです。今ちょっとこれ時自分で書いといてください。あれなんですけども、間が足りないなんてことは理解してますので今コサクさんの御指摘の通り使用ごと、建屋の地方と、あとは移送ってところも明確になるように記載します十分法定わかるように、
0:17:45	規制庁、古作です。了解しました。
0:17:59	はい。
0:18:00	はい。
0:18:01	規制庁キシノです。ちょっと 2 点確認させていただきたいんですけども、
0:18:05	はい、お願いします。はい。資料の 11C のほうにですね、下から 5 行目あたりですか。当東海第 2 及び柏崎の施設込みを含めたプラントにおける経営と何も整理したと。
0:18:22	ありますけれども、ここでは東海第 2 各社先も含めて先行 PWR も含めて、新規性基準対応をした先行サイトすると対象にしたとそういうふうに理解してよろしいでしょうか。
0:18:37	。
0:18:39	。
0:18:42	はい、年々サガワです。今の御指摘に対しましては、
0:18:48	東海第 2 っていうところとか田崎をベースに確認してございます。ただですね、例で言いますと、定ピッチで有機系配管系の定ピッチにつきましては、P 電力さん想定ピッチの保守性とかっていうところとかもありますので、
0:19:04	本当に最新プラントっていうところの東海 3 と柏崎にないものは P 電力さんも参考にしたっていうところで幅広く確認してるっていうところになってるのはなっております。
0:19:17	わかりました。作成中です。こういう硬化症先をベースにしているということで、それだけで判断つかないものについては広げてるというそういう趣旨であると理解しました。それと温アーチ状なところですね、自分自身、
0:19:34	にもですね。
0:19:37	評議員中程に最新プラントっていう言葉が出てくるんですけども、送信プラントの定義についてここに説明がないんですけども、ちょっと今回の専攻科その他プラントと比較する上でですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:52	何を対象にしてるのかっていうのがちょっと明確に明確に説明を超えておいていただいたほうがいいかなと思うんですがいかがでしょうか。
0:20:02	はい。
0:20:03	はい。
0:20:08	問題意識でございます。そして本部の法令等の箇所というところで、あと相對プラントということは書かせていただきますが、この最初のプロットというふうにちょっとわかりづらい記載になっておりますので、これに関しては、御指摘の通り修正いたします。
0:20:24	はい、見直しのスタートをもう1点なんですけども、先ほどの16ページ27ページの辺りで第1回申請とか第2回申請の
0:20:37	内容についての確認がありましたけれども、この中でですね、可及的協力変わるものと言ったら26ページの真上カラー5行目ぐらいですねと確認方法について示すという説明がありますが、今回の申請の中で、
0:20:59	51ページには飛来物防護ネット等を波及的影響の検討対象として挙げているわけなんですけど、これが今回の申請の中でその検討結果を示すと理解しているのか、先ほど刑事7ページの進行方向を示すという説明で結構どこに出てくるのかちょっとわからないんですけど、
0:21:18	ところで、きっとどこで示す、/Q今日の検討結果をここで示すという考えでしょうか。
0:21:30	はい。
0:21:33	日本原燃さんはですね、先ほどの防護ネットの関係っていうところは第1回申請の結果ということで書かせていただいておりますというところで26ページに書かせていただいた波及影響を受けるところにつきましては、
0:21:47	本当に基本方針の説明をしてる中で我々少しちょっと理解不足であったところがあるんですけども、次回のものは次回で示すってということで理解して作成しておりました。そこに対しましてその基本方針のヒアリングの中で波及影響についてはウォークダウンとかを含めてすべて
0:22:07	示すようにということはこの御指摘がありましたので、その増強方針を示した上でその結果について、東海さんと同じように補足説明資料でウォークダウン相互影響の結果を示していくという計画で考えている意味でここに記載しました。
0:22:25	なのでそちらのほうに結果は持ってくるということで考えてございます。
0:22:30	基本方針と補足説明資料で説明するということで考えているというところですよ。
0:22:37	規制庁のキシノです。わかりました。第1回申請の中での結果も含めて説明があると理解します。はい。私からは以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:51	規制庁津金です。投資の6ページなんですけれども、建物構築物について。
0:22:58	構築物全体として変形能力を総レベルで消火しとあるんですが、なぜそこでレベルで評価するかその理由と妥当性について説明してください。
0:23:19	次年度どうぞございます。こちらのほうといたしましてはMOX建家特有のところの確認といたしまして、基本的に建物全体の連携制度といったところでまた新規のせん断ひずみ等に対しましてテーマを弾性範囲内だといったところを確認することによりまして、
0:23:39	例えば全体系として、こちらのSD及び静的地震力に対して、そうしての是正の確認といったところを待ちたいといったところがあの金とかで、
0:23:53	期待している趣旨になってございますので、そういったものも踏まえましてポンプにおきましては許可でき返してる内容のこちらのほうの弾性設計用地震動SDと静的地震力に対して、そう全体としての耐震機能せん断ひずみといったところが、
0:24:09	弾性範囲内であるといったところを確認するといったところをどうにおきまして記載していると、その部分も確認するといったところが設工認での確認しようというふうに考えてございますのでとしましてはそういうようなところを念頭に置きまして記載しているところでございます。
0:24:28	規制庁津金です。全体としての変形能力の確認ですけれども、この局所的な変形能力みたいなものっていうのはきちっと確認しなくてもいいんでしょうか。
0:24:44	このよくするとしましては
0:24:48	そのSクラス要求がございまして、上段のほうにあります、中国人といったところに対しまして、基本的にはS次のキャビティとしまして局所的な応答も含めましてこの壁の評価のほうを実施していくといったところでございます。これ後段の方に期待しておりますのは、こう言っても
0:25:07	MOX全体としてのですね、建物全体がこちらの方の知見を食い協議するに当たってSDに対して概ね弾性範囲であるといったところですね、低下して確認していくといったところが目途国としての確認辞書事項として、
0:25:24	許可の中で整理されている試行といったところがございますのでその中央区域の局所的な壁といったところプラス、全体としてもですね、変形能力を確認するといった意味合いがマックス求めて手法という位置付けのところ局所評価の少し上に合わせて全体変形としての確認方法も実施するといった位置付けのほうで今展開をさせていただいてございます。
0:25:46	規制庁、大塚です。説明は理解しました、同じ6ページなんですけれども、この中で、接地圧については極限支持力度に対して妥当な安全余裕を有することとされているんですけれども、最大層間変形角及び発生せん断力は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:01	許容限界を超えないこととしてあっても両者でちょっと違いが生じてるんですけども、この点について説明してください。
0:26:17	日本原燃のオガセです。ちょっとすみません、確認させていただきます。今の応力が許容限界を超えないことを確認するとおっしゃったら、先ほどのにあたり目指せ憩いの段落のリスクの部位のうちというところでもよろしかったでしょうか。また先ほど違っているといった運転が今の一番下のところで概ね弾性範囲とびあ全体としては、
0:26:37	前半というところ、この二つの書きぶりが違うについてということでもよろしかったでしょうか。
0:26:42	規制庁津金です。
0:26:45	極限支持力度に対して、妥当な安全余裕するっていう話と、
0:26:51	単純に許容限界を超えないっていう、要するに余裕があるのかないのかわからない書き方をしているところがあるので、その点の違いについて説明していただきたいのですが、よろしいでしょうか。
0:27:13	よろしうございますか。そしてもし火災極限支持力の
0:27:27	本件でウラバヤシでございます。ご指摘いただいております極限支持力の時ですが、短期のSDとかの短期の事象を超えて、Ssの終局状態。
0:27:39	イトウさしております。平均いわば極限支持力だけですので、それをちょっとでもこれはもう
0:27:45	壊れるのかみたいな議論になりますので、結構終局の状態に対して妥当な安全余裕合流することと、その手前で、
0:27:53	ええと評価基準を行いなさいよという趣旨でございます。° ご指摘あったという天井スラブというものについては、応力解析で断面を、弾性設計でやりますという宣言ですので弾性会社短期の許容応力度を超えないこと。
0:28:09	Wet明らかにしてございます。そしてもう一つの固体層全体として、そうレベルで評価し、せん断ひずみを超えないことを確認するんですけども、この京王玄海自体がJRの他市のガイドにも記載してございますが、
0:28:27	4000 マイクロという終局状態に対して妥当な安全余裕として 2000 マイクロフォン評価基準として設定してございますが、そういった流れからNを超えないことという表現になっております。
0:28:40	データとしては同じでございます。
0:28:43	以上です。
0:28:44	規制庁使って再説明理解しました。スギ通しの 13 ページになるんですけども、建物構築物なんですけど、今回施工において経営コンクリート及び鉄骨農薬係数並びにコンクリートのパースの費用を再設定するとあるんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:00	湖西設定する理由を説明してください。
0:29:08	入って日本のオガセにつきましては、コンクリートのヤングコンクリート及び鉄骨のヤング係数及びコンクリートポアソン比というところですか、こちらにつきましてはRC基準の会計というのがございまして／単位のmsSI単位化などを踏まえましたそういったところの変更というところがありますのでそれを踏まえた設定をしているというところでございます。
0:29:29	規制庁津金です。説明理解できましたのでその分かるように記載の方法を検討していただきたいと思います。
0:29:36	続いて、
0:29:38	同じ 13 ページなんですけれども、解析モデルのところ、括弧Bの一番下のところへ地盤の非線形特性について既工認では考慮していないけど今回考慮するとしてるんですが、その理由と妥当性について説明してください。
0:29:55	今みんなもうそれぐらいですこちらの既設工認のほうではもう建屋の側面地盤を考慮していないのは今回はつけているというところでございますが、こちらにつきましては基本的に戻るのペーパーというところの観点で実施を行っております。こちらの考え方の妥当性ですとか、その考え。
0:30:11	物性値であるとかそういったところの予備率につきましてはヒアリングでは、補足説明資料の地盤ばねの設定等のところで、その妥当性についてお示しをしていくという位置付けで今回はここに示させていただいております。以上です。
0:30:26	規制庁津金です。補足説明資料の補足ではないと思うんですけれどもそのスペックと資料等ですねきつと別のところで書くのであればその旨説明してそちらに飛ばすとかしてですね、ちゃんとそのリンクが張れるような形で資料構成していただきたいと思いますがいかがでしょうか。
0:30:44	かしこまりました変更点等につきましてはどのこそ空冷説明することになるかなと、そういったもののリンクするようにわかりやすい資料のほうでつくっていくように考えていきます。以上です。
0:30:55	規制庁津金です。私からは以上です。他コメントありますでしょうか。
0:31:00	規制庁ハバサキです。幾つかあるんですけど、ちょっと最初細かい話には伝えかあった 13 ページの最初の質問のところなんですけどRC規準に基づいて、両括弧 1 の上の行ですね、これ、
0:31:17	コンクリート及び鉄骨なってますけどこれ鉄筋ですよ。
0:31:24	はい。日本原燃の橋です。おっしゃる通りですね、こちらの正しく修正させていただきます。
0:31:30	規制庁の片桐です。そしたら私のほうからですねあと何点か確認 25 ページ
0:31:37	既工認との比較の表の中で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:41	上段の流用区域
0:31:44	これの右から2列名5参照とした設備名称のところ、
0:31:51	これで
0:31:53	壁に関しては、計7柏崎のタービンの話を書いてありますので、天井等床スラブに関しては、同じく柏崎の中央制御室を参照と書いてあります。これ使い分ける理由についてちょっと説明してください。
0:32:10	IT産業のオガセでございますが、こちらの何を参照してこういうふうに使分けただかといいますと、こちらの左から1234段目ぐらいの会議解析モデルという列を列がございまして、こちらですね、稼働につきましては、今回はこの10億1につきましては長方形仮想場所というところも
0:32:29	解析モデルの作り方やっているところにポンプ天井床スラブにつきましては4.5底盤Aもしくは3. というところのモデル化をしているというところですが、それぞれの手法について、どこの
0:32:40	プラントで実績があるからプラントもしくは建物で実績があるかということ個別に考慮したというところございまして、やはりこれらの解析モデルのつくり方としましては添建物なりの実際の構造の実情に即したものをつくりましますので、それにつきましては、それぞれパーツごとに立って当社の建家として、
0:32:57	特徴を踏まえたところのやり方をやると、その結果として、それぞれの部分に対して使われている手法学校であります通り、こちらでこのタービン建屋もしくは注意を床については中央制御室というようなところで変わっているところがあるというところでございます。以上です。
0:33:13	規制庁幅野ハバサキです。今の説明は理解というかわかったんですけども、19ページのほうに、重要区域の壁と床の評価基準の話が出てまして、これ前回はご案内引きヒアリングしましたけれども、
0:33:31	壁に関して今回は表記に移った評価基準としてはそうレベルでしか評価しませんよと。
0:33:38	局部評価しませんっていう話がありますので、私自身は、この重力域っていうのは、基本的には先ほどあったかしらと中央制御室と同等というふうに考えているんですけども、要はこれ、機密当庫の重要区域に関しては、
0:33:56	閉じ込め機能っていうふうには書いてあるんですけども、いわゆる機密切る機能を
0:34:01	換気装置の性能当行誤ったA換気量の計算をする必要とするようなですね。
0:34:10	そういう気密機能っていうのはないんでしょうか。
0:34:15	日本円増加仕事の今程のパターンがありました内容に関しましては時間以降です。ちょっと補足で投与の前のコメントも踏まえまして用意させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>いているところがあります土地の方には記載はあるんですけど、さしていただいているところでございますけども、基本的に、</p>
0:34:33	<p>こちらのほうの今、燃料加工建屋におけます重要区域に関しましては、気密要求といったところまでは要求がされていないといったところで、基本的に閉じ込め機能要求までがされているといったところになってございます。</p>
0:34:49	<p>こちらのほうの詳細につきましては一応コサクですけど、機密という言葉がちょっと誤解をお互いしてるような気がするんですけど。</p>
0:34:59	<p>中央操作の中央制御室の別に機密ではなくてですね、ユニークあるんですよ。</p>
0:35:07	<p>そういう部分換気で引いて、環境を維持するということなのでちょっと機密ということももう1使わないほうが良くてですね。</p>
0:35:15	<p>隔離弁で気密って言うと本当に別途、リック対等なものっぽいイメージちゃうので、その点で、何ていいですかね。</p>
0:35:31	<p>ピークについて気にする必要があるものなのかどうかというぐらいのイメージでハバサキの方が言ってたんじゃないかなと思うんですけど、本店では今原燃で説明したのは閉じ込め機能としての</p>
0:35:45	<p>昨日容器ですっていうのがイコールなんですよ。</p>
0:35:50	<p>ハバサキの議論していただいたほうがいいと思います。はいわかりました機密部とロゴ言い方をしてしまいましたが陸であったり負圧維持であったりといえますか、要はその閉じ込め機能としては、中央制御して、</p>
0:36:07	<p>2000 マイクロのひび割れを考慮して換気量を計算するような、そういう地表といえますか、必要性はないと。</p>
0:36:16	<p>ということなんでしょうか。</p>
0:36:30	<p>人間にしてございます。今ほど御指摘を踏まえて、今後出す補足説明資料で整理をさせていただきますが、原料は当社 2000 マイクロ耐震上の性能の評価と負圧維持と無関係レベルを気味まあ閉じ込め性というところもある要求はないというふうに考えてございます。</p>
0:36:55	<p>規制庁の蘇武です。1億は続いてはしないといけないのでないと思いますっていうのはちょっと乱暴すぎるので。</p>
0:37:04	<p>もっとちゃんと整理をして説明が必要だと思います。</p>
0:37:12	<p>日本に車両でございます。尊厳を踏まえて整理は正しい認識のもとに整理をさせていただきます。</p>
0:37:23	<p>規制庁ハード的でハバサキです今後詳細の説明を得てから説明をしてもらってからまたHzにしたいというふうに思います。</p>
0:37:35	<p>鉄塔</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:36	あと最後なんですけれども、今回の資料としては 15 ページ、すぐ元話が出ました、今回、設工認における主要な設備を説明項目、これが新たに追加された資料という認識率で、この結果っていうのは、先ほどお話あった添付の 6 であり、テンプのナガノ表示
0:37:55	繋がっているということです。それでこの 15 ページからいきなり、例えば建物構築物ですと、今日、添付の 7 の方に御展開されるわけなんですけれども、
0:38:08	この、この間にですね、これだけある建物構築物をどういう形間関係政令で分類したとかですね或いはここはこういう考えでやってある意味この凡例だとかですねあのえっと、添付 7 の表の
0:38:25	上下に書いてあります凡例だとか、中期、ある意味、これが重要とも考えられてましてですね、ちょっとそこら辺の流れがわかる。結果しか出てないけれどもそのプロセスがわからないっていうん違うんですけども。
0:38:43	ちょっとその構成
0:38:45	この文章体としてのですね、構成をもう少しわかりやすい形で、
0:38:51	流してもらえないかなと、例えばフローをつけていこう分類分けをすとかですね、そういうもう少しわかりやすい。資料の考え方というものを取り入れてもらえないかというふうに考えるんですがいかがでしょうか。
0:39:07	日本の就職ただいまの御指摘踏まえまして、連成として今おっしゃる通り健岩部と結果のところに行けば理想的といいましたけれども、この重複などを作るにあたって、どの建屋という案件に当たるか、そういったところがわかりやすくなるような流れがわかるようなところの文章もしくは断層などそういったところをどういう形でできるかを考えた上で記載のほう充実をさせていただきます。以上です。
0:39:30	規制庁ハバサキです。
0:39:31	私からは以上になります。
0:39:38	規制庁つつあるです他コメント等ありますでしょうか。
0:39:44	規制庁コサクですけれども内容じゃないんですけど、ちょっとヒヤヒヤしながら、今これまで聞いててですね不開示情報が結構
0:39:55	この資料。
0:39:56	関係で入っていてですね。
0:40:00	と言いつつ、
0:40:02	内容見ると不開示情報じゃないんじゃないかと思うようなことがいっぱいあってですね。
0:40:07	一番最初に話しましたがけどマスキングの考え方を早急に整理して対応いただかないと、ヒアリングでちょっと管理がしにくいと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:16	ということがありますんでクラスですね。聞こうかいい情報が見れる形での資料提出のときに、機構会長法の場所の明示がないので、それでヒアリングもやりづらいということがあります。
0:40:33	で、その点を明示して提示することって言うてあるんですけど、それができていないのは何でしょうか。
0:41:01	保険でオオクボでございます。すいませんあの公開のときにマスキングするところを赤枠で囲ったものを非公開版として、
0:41:11	出さなければいけないのではないかとということでちょっとその給料がそうになってなかったことについてちょっと今後の資料については、そういう対応させていただきます。
0:41:26	規制庁コサクです。これは厳守していただかないとヒアリングできませんので、
0:41:30	よろしくお願いします。
0:41:33	日本原電のほうでございましょうっちゅうました。
0:41:43	規制庁ツガネです効果よろしいでしょうか。
0:41:49	よろしければ続けて
0:41:54	次の資料なんですけれども、鉛直方向の動的地震力考慮による設備の浮き上がり等の影響について、括弧第1回申請範囲と
0:42:02	これ
0:42:08	提出年月日は3年2月2日のものです。これについてコメント等ありましたらお願いします。
0:42:22	規制庁カミデです。特にの統合原燃側から特に説明したいことがないという前提でもコメントを始めますけれども、
0:42:34	これ前回にもう指摘させていただいて今後の申請も見据えて、公聴会で示すものを読んで先ほども言った話なんですけど、この資料が特に反映ができていなくてですね、冒頭の
0:42:54	3ページの冒頭で第1回外の話は工事会でと話をしているだけになっていますけど、実際、この内容というのは、工事管理の設備もほぼ同じもので
0:43:10	物によっては若干説明が加わるような設備もあるかもしれないなというようなものだと思いますので、
0:43:21	全体的な記載としてですね、恒設構成という書き方を見直してもらってその上で、こういう特殊な施設の考え方については高次化の工事で示しますとか、
0:43:38	あと具体的に結構まあすべてつける必要があるんだというのであれば結果については、ここの結果についてはまた次回ですというような整理をしていただいで資料の構成、そういった形で見直していただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:58	人間サガワです。はい。今ほどのスカミデさんの御指摘に対しまして、安易に次回申請で示した形で書いてしまったんですけども、本当前回コメントを今思い出して見ましてもそういう特殊設備があるのかっていう指摘は確かにありましたので、その辺を踏まえて対象範囲と結論のところを、
0:44:18	期待します。
0:44:23	規制庁カミデですと先ほどもあったように第1回申請はほとんど説明できるようなものを抽出していただいているんだと思いますので、そういった形でされて整理してください。
0:44:39	はい、了解しました。
0:44:44	私のほうは以上です。
0:44:57	規制庁津金です。他よろしいでしょうか。
0:45:04	規制庁ハバサキですが、ちょっと2点ほど投与通しページ通しの4ページなんですけれども、上段から2行目の中ほどからですね、鉛直方向の入力地震動が生起過渡的に変わることで、
0:45:22	この文章のところですけども、
0:45:26	よろしいですか。大丈夫ですよ。この文章だけですと、
0:45:32	例えば世紀から動的に大きくなる、その程度であったり、或いは許容値との関係であったり、いろんな要因があって、考えられますので、これ結果的にはこういうふうになるんでしょうけれども、もう少しなんていう文章としては丁寧な説明。
0:45:51	それをだからこういう結論になりますっていう、もう少し説明を所在してもらいたいというふうに考えるんですがいかがでしょうか。
0:46:01	日本原燃サガワです。はい。今ご指摘ありました通り結論だけではなくてそこに至るまでの過程というところをしっかりと書かせていただきます。
0:46:11	規制庁甘酒続けてもう1点は5ページにこれ結果が出てるんですけどもZPAの値が数値が出てて比較するような形になるけれども、それですねこれって何かこう、
0:46:24	出典といいますか紐付けたというか、そういったものっていうのはないんでしょうか。
0:46:33	日本原燃さんはですね、今の御指摘としましてはこの値に対応して出典元っていうことになると、計算書っていう形になっていくんですけどもその辺をひもづけるということでよろしいでしょうか。
0:46:47	ピジョンハバサキです。基本的にやはりこの数字がどっかで聞いたのかっていうのがわかる。この資料としてわかる必要があるというふうに考えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:56	日本原燃サガワです。ご指摘の通りこれ補足説明資料という位置付けになってございますので、そこについてはしっかりと明記します。
0:47:05	規制庁ハバサキです。お願いします。
0:47:09	日本原燃サガワです。了解いたしました。
0:47:23	規制庁津波です。ほか、
0:47:25	よろしいでしょうか。
0:47:33	規制庁津金です。よろしければ次の資料に水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組み合わせに関する評価部位の抽出を提出年月日例は 3 年 2 月 2 日の資料について、コメントありましてお願いします。私から最初にお聞きしたいんですけども。
0:47:50	10 行下 10 ページのところに段落目のところで、
0:47:56	直交する 2 方向につり合いよく配置された鉄筋コンクリート造耐震併記を主な耐震予想して構造計画を行うとあるんですけども、このつり合いよく配置というところについて、具体例を示して説明していただきたいと思いますがいかがでしょうか。
0:48:12	年々サガワです。ちょっと 1 点、すみません、確認させてください。次の資料は期限資料のSDの評価結果の示し方って資料でしたけれども、ツガネさんのほうを御指摘は次の保険 3 の資料っていうことでよろしいですか。
0:48:30	規制庁津川です。失礼しました。保険の方は手も耐震 07 としました水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組み合わせに関する評価部位の抽出という資料になります。
0:48:42	はい、わかりました。
0:48:47	日本原燃要するに先ほどの質問に対する回答ですけれども、認定するところとしては、
0:48:55	耐震計算等で我々NS方向に努力をこいう地震力を入れておりまして、それぞれの方向、N携行する足し引きが却地震力とするということで、そのX方向、NS方向、EW方向にそれぞれ片や
0:49:15	まず予想ともにバランスよく差し引きを配置しているというのを今後規制を書かせていただいております。
0:49:24	一部になります。
0:49:26	規制庁ツガネですとか、個別の経産省と見ればこの構造計画についてわかるという理解でよろしいですか。
0:49:37	信頼性を例えばですけれども、今回申請した
0:49:44	次報告すると、機械基礎のAMは絡みのやつですけどもについては、都市部 36 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:55	以降に自分の計画を記載しておりますのでこちらの各済みを見ていただければ、ちょっとすぐ外部的な話になってしまいますけれども、
0:50:11	おりますので、ニコウトラベル方向で金持ち偏ったりということをなぜ確保にバランスよく配置されているかと思われれます。
0:50:23	以上になります。
0:50:25	規制庁津金です。説明理解しました。
0:50:28	ほか、コメントありますでしょうか。
0:50:33	規制庁、どうぞ。
0:50:35	規制庁カミデです
0:50:37	耐震建物 07 の資料でちょっと確認したいんですけど、まずこの資料ってどうどうか含まれているのかどうかを読み取れなかったんですが、労働の扱いも同じなのか、説明しております。
0:50:55	戻るのですがそこら辺が少し上がっていただけんですけど、予算資料では建物構築物と書いておりますが、どう以外にも建物構築物を対象としておりますので、そこにつきましては、
0:51:10	次回御説明段階を明確に修正させていただきたいと思います。以上になります。
0:51:17	はい。
0:51:18	規制庁カミデですよろしくお願いします。あとですね、31 ページ。
0:51:25	のどこですか。
0:51:29	ええと 30 億円FEMモデルによる精査ということで、この資料にそういう話があるんですけど、一方で、今日ほかに説明量定の耐震建物 09 で 0KIa耐震建物の 19 の資料で、
0:51:48	混む三次元FEMによる地震の応答解析という資料が出てるんですけども、ここで、この両者の試料間の関係というかですね、検討を稼働関係してるのかっていうのを説明してください。
0:52:06	日本原燃いらっしゃる津波かえっていたしますイノウエ結核申し上げますと、今後対耐震建物 0 に書いておりますということを三次元FEMによる精査や燃料加工建屋における
0:52:22	戦争の詳細を 19 番の補足説明資料の表に記載しております。本来であれば、1907 のほうにも、その記載して 19 本のウノ 07 の
0:52:41	これも精査についての詳細に記載しております適用範囲を記載すべきだというふうに思いますんで、そちらのほうについても次回御説明皆さん追記して説明の部署を付け加えさせていただきたいと思っております。以上になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:58	規制庁カミデですとわかりました、適切に両者の関係がわかるように、資料の中に反映してください。私のほうは以上です。
0:53:08	規制庁ハバサキです。23 ページ、これ以降も出てくるんですか下線で施設名建物だとか部位の名前が書いてあってこれは次回以降の申請対象ということで書いてあるんですが、
0:53:25	逆にこれ今破線で書いてある再処理施設の建物応答部位等ですね、これがすべてここがこの抽出された建物部位のすべてという理解でいいですかそれともまだこれからぼろぼろ出てくるということなんでしょうか。
0:53:45	お願いする質問に回答させていただきます。
0:53:51	今回の検討ページを例えば通し番号の 16 ページ 10
0:54:00	当時、今回冒頭立岩の位置として質問しておりますのが今回我々は
0:54:10	申請するときのすべてを行ってございまして、プラスしてちょっと外部の関係の話もあるんですけど、そちらの提案についてはちょっと今日の表移管してありませんと網ですけれども、
0:54:26	外部設計に関しましては建家の衝突エネルギーをまず離隔距離を待とうという費の確認もやってきますので、
0:54:38	一部年後を評価によるものが主体は特に予定ですので、結果ですね、方向に評価からあすこんなるとするというようなダウン認識ですので、結局結果申し上げますがある物から増えるということとはございます。以上になります。
0:55:00	規制庁ハバサキです。そうしますと、資料の後半のほうにPA建屋の平面図が出て西洋コーナーの考えられる要因という形でですね、説明があるんですけども。
0:55:16	今後、この
0:55:19	次回以降出てくる。対象となる数、建家であったり、壁等の部分に関しても、こういう図面が資料に追加されてくるという理解でよろしいでしょうか。逆の言い方いたしますと、今そういう図面だとか情報がない。
0:55:36	建家名称分しか書いてないんで、これではちょっと判断しかねないと執行できないんですけども、
0:55:44	いかがでしょうか。
0:55:47	次の質問に回答させていただきます。来時間以降はですね、今回の
0:55:55	想定例例えば 44 ページ以降にですね、建家か拡売拡張されて、
0:56:05	いきまして、カワモトJISのかと思うんですけども総務部対応させていただきたいと思っております。以上になります。
0:56:16	景気ハバサキケースを原燃としてはそういう予定だということで、今理解しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:21	ちょっと内容が違いますけれども、23 ページ或いは 27 ページ抽出した部位ということで荷重組み合わせだとか三次元的応答特性が影響を考慮した形で名が抽出されてますので、まず第 1 回申請の
0:56:39	ボックスPA建屋なんですけれども、Pa建屋の地上階特に二階よりも上ですね、天井スラブも含めてですけれども、かなりほ壁がない。広い
0:56:54	エリア。
0:56:56	がありますので、それに関して、今、いずれも、
0:57:02	この影響救出影響が考えられる部位として抽出されてないんですけれども、
0:57:09	かなりその負担が大きい空間空間といいますか。平板のところです、それに対しては抽出してない理由は、なぜでしょうか。
0:57:37	基本一つございます。こちらの全体の私どもこちらの資料ですね作成する際に、抽出分も含めまして、全体の網羅性を
0:57:48	最初含めて全体の網羅性を見た中で、そういった使う望んでるものにつきましては再処理等におきまして、こちらの緑生飛んでいるものがございましてそちらの方向を代表部位としてですね受注するような形のほうで整理しているといったところが、
0:58:06	現状の整理になってございます。ただ私はおっしゃる通りのところで目途地方会の部分において都市大空間になってる部分がございまして、そういった部分に対して
0:58:19	今後、これまでのその県道が通っていたところに関しましては必要に応じてあく追加させていただいて検討を深めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
0:58:30	規制庁ハバサキです
0:58:33	そういう対象となる理由、
0:58:36	デート部位といいますか、そういう床スラブやったりですね
0:58:43	ですねあるんである場合にはどう考えるかということですね説明をして追加をしてもらいたいというふうに考えますんで、同様に古い基礎ですね冷却時そうだったかの杭基礎のところあれもかなり
0:59:02	健聴費が長い、基礎構造になってると思います。実際先行Pでもですね同様な杭基礎の場合には、この 2 方向の対象にしていますのでですね、それも教科書では必要はないのかどうか。
0:59:19	それについてもあわせて説明をしてもらいたいというふうに考えます。いかがでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:27	正当なんですけど、確認させていただきたいんですけども、例えば施しハムスターAM訓練を記載についてなんですけれども、この竜巻過去の当式そのものも
0:59:43	については、おっしゃったことでしょうかそれとも応力と本体の基礎についてでしょうかと、冷却塔のすみません、以上になります。
0:59:58	竜巻防護ネット基礎だと思います私見てた懸念は今ちょっとすいませんでまたないんですけどもかなり延長が長い杭基礎海域の基礎です。
1:00:14	キクチ
1:00:17	ありがとうございます。お竜巻個々の基礎に関しましては設備の区分登録もございますのでそちらのほうの位置付けも踏まえましてご指摘のようにいたしましたので、今後適切な場所のところですね、御説明できるような形のほうで対応したいと思います。よろしく願いいたします。
1:00:36	規制庁甘酒すいません具体的に基礎ということの家なんてすいませんあのただ似たような区域層で非常に変調非がないような基礎っていうものがほかにもないのかということを含めて説明をお願いしたいという趣旨ですので、よろしく願いします。
1:00:56	次にトガシございます。そういった杭基礎等ですね、そういったところの整理をさせていただきます。適切に対応させていただきます。
1:01:08	イトウハブからは以上になります。
1:01:20	規制庁の武田です。その辺、1点だけ確認させてください。ページは31ページになるんですけども、
1:01:32	この赤の実線になっている部分からの記載なんですけど、新設建屋の燃料加工建屋に対し、局所的な応答について三次元FEMモデルによる精査を行った。
1:01:45	続いて、その水平方向、水平2方向及び鉛直方向。
1:01:50	揚力による事例などについても確認を行ったんですけど、この二つの力国精査等を確認についてそれぞれ持つてるに違いがあるのかということと、地震の入力についてどういった違いがあるのかっていうのをちょっと説明いただけるでしょうか。
1:02:10	どんなにほど質問に回答させていただきます。江藤。
1:02:15	センサーお父さんモデルによる整備スタートは区分ムラカミIAEA局所応答と
1:02:23	出して日本製品工業鉛直方向に行く人ほど強度についても多い確認ということがありますので使用しているレベルについては導通部のちょっとこれは
1:02:36	というのは19番の資料の評価になるんですけど、幾つかのレベルを使って今局所的な応答について評価をしております。使ってるモデルは時です以上になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:57	規制庁の武田です。わかりました。モデルは一緒ということなんですけれど、では入力時のも、これは同じですか。例えばえと局所的な応答っていうのの確認もこれは2方向倒産ええと。
1:03:14	鉛直方向の入力を行っているんでしょうか。
1:03:28	今後において正当こちら丸方向プラス鉛直方向の入力について行っております。以上になります。
1:03:40	規制庁の武田です。横領間違っそれぞれ
1:03:47	日本高等鉛直方向入力を行って例えば局所的な音っていうのはその面外強度とかそういった応答の確認をされているということと、あとは20件の平面的なねじれ振動
1:04:02	時ここに貸して苦しんでの確認を行った、そういうことですね。
1:04:09	うんです。おっしゃる通りの認識でありますね。
1:04:12	以上になります。
1:04:14	規制庁タケダです。わかりました。ありがとうございます。タケダプラ以上になります。
1:04:22	規制庁津金です。他よろしいでしょうか。
1:04:31	よろしければ、続きまして、
1:04:34	地震応答解析における耐震駅のせん断スケルトンカーブの設定、耐震建物09、提出年月日例は3年2月2日の資料について、
1:04:44	あと、
1:04:45	大きなコメントなんですけれども、これ実際のスケルトンカーブはつけないんでしょうか。
1:04:52	比較の図がついてないんですけれども、ずっとつけないんでしょうか。
1:04:58	そして、
1:04:59	今日説明してございます。こちらのちょうどつけさせていただき、基本的にちょっと今回の資料につきましては実際の設工認図書のほうにですね、SE系統カードの方がずっとしてございましてそちらのほうのスケジュール等の価格設定にあたって、
1:05:17	補足という位置付けのところですね、痕跡させていただいてるところで、ものすごい運搬したら、設工認図書のここに記載するのをさせていただいているといったところが、資料の位置付けになって参ります。
1:05:29	規制庁使って再説明理解しました。
1:05:32	コメント等他ありますでしょうかよろしいでしょうか。
1:05:36	あと、よろしければ、続いて、資料耐震基準090は、轍年月日は3年2月2日、耐震Sクラス施設に対するSD評価結果の示し方について、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:48	について、コメントありましたらお願いします。
1:06:13	規制庁津金です。
1:06:16	評価の手順の説明のところ、01、基準地震動 $S_s$ による発生値と評価基準値の比較ということで、 $S_s$ による地震発生値、これ発生値が許容力状態ⅢASから場合は、弾性設計用地震動SDの評価を行い、行わないと。
1:06:34	いう説明に見えるんですけどもその理解でよろしいでしょうか。
1:06:41	2 日本エヌスケカワです。はい。今今日さんの方からお話があった通り、 $S_s$ の結果が東京優待サービスをちょっと
1:06:51	下回る場合につきましては、結構それで満足することで、SGの詳細評価というのは不要としております。以上です。
1:06:58	規制庁津金です。一方ですね弾性設計用地震動SDによる評価っていうのは来なんか評価用何とかってやつはやらずに、改めて弾性用設計地震動SDを用いて評価するというお話があったと思うんですけども、そちらやるのであれば、
1:07:14	結局同じ終わってからSDによる評価やることになるんで、日省略にならないんじゃないかと思うんですけどもいかがでしょうか。
1:07:23	はい、日本原燃さんはですね、ご指摘ありました通り、弾性設計用地震動SDによる評価っていうのは別の話ですけども一式全部やりますというところで、私の方から話してます。本資料の位置付けとしましては、これまでの面談の中でいろいろお話しした中で、
1:07:39	評価結果の示し方っていうところで、整数ちょっと下のページ5ページでちょっと例をつけてますけども、
1:07:51	右側 $S_s$ の結果があつて、 $S_s$ の結果がもうかなり応力が小さくて、SDの結果を示さなくても、この許容応力の算出応力を見ればわかるのであれば、これを代表で示すことが可能ではないかという話がありましたので、
1:08:08	これ、これにつきましては示し方としてこのような示し方をしますっていう位置付けです。ご指摘の弾性設計用地震動による評価というのは、事業者として評価は実施しております。
1:08:22	規制庁津金です。あくまで所構成としては、 $S_s$ どう応力でⅢAS最寄りから小さいということをもってSDの記載は省略すると。
1:08:34	いう説明であれば、ちょっとそれがもうちょっとわかるように説明のほう加えていただいたいただければと思いますがいかがでしょうか。荷揚年産あれし了解しました示し方あくまでも示す方だということをもう少しはっきりわかるように記載します。
1:08:53	規制庁コサクです。ちょっとどうでもいいんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:01	示す必要がないのに何例やるんですか。
1:09:05	評価を
1:09:08	日本原燃さんのコサクさんのご指摘は評価を何でやるんだっていうことですよ ね。
1:09:18	あのですね、ちょっと細かい話になって設計の話に入っちゃうんですけども、発 注をかけるときに、教科 1SsとSDの評価の発注をかけてございますので、そ の時点ではSsの結果が小さくなるってことはまだわかってないというところ で一式かけてるということで、
1:09:37	許可やましたければ、作業手順としてそれぞれパラにやっているのだそうで す。書類をつくるときには両方の結果があるからっていうことになってるって いうことです。そういうことになります。はい、わかりました。
1:10:00	よろしいですか。規制庁ハバサキです 1. 核に確認だけですとSAの評価は やりますっていう、そのお話は、地盤応答からすべてやり直すやりますという、 そういう意味で位置付けと言って事業仕分けですよ。
1:10:15	去年サガワです。はい、その理解で間違いありません。はい、了解しました。
1:10:23	すいません日本イトウしてございますけどもちょっと一番オートって話が少 しあったのでちょっとあの確認だけなんですけども、基本的に建物の現状申請 している評価につきましては、通常のSB許可でして示せる経理SDのほうで 評価を実施してございます。
1:10:41	ですので建屋側の応答解析で用いているSDに関しましては、委員長申請さ せていただいているものから変更ございませんのでそこは少し登録させていた だきます。
1:11:05	規制庁津金です。他、よろしいでしょうか。
1:11:12	はい。
1:11:13	すいません規制庁モリノです。1 件、質問したいんですけども、Ssで渠う違 うのⅢASを下回るものについては、SDの評価を省略し、記載を省略します ということなんですけれども、
1:11:32	これの耐震性を評価する上での何かそのモデルであるとか何かその地盤の 非線形性とかって話がほかの資料でもあったかと思うんですけども、そ の挙動っていうのはSsとSDとでは同様なんでしょうか。それでかかってSSの 評価で代表していいっていう
1:11:52	そういう最終の結果になるのかを確認したいんですけども、
1:11:57	日本原燃サガワです。今モリノさんの御指摘に対しましては、多分ですね建屋 側の非線形の話と、弾性設計の線形の話でそれで大丈夫なのかっていう御指

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	摘だと理解しております。それにつきましては、当期連側としましてSsがSD、確かに戻る上げれば、
1:12:15	ちょうどが違うので出込み引込みが出てくるというところはあるんですけども、今回のSsとSDの比較すべてやってまして、イトウ設備が設置されるフロアについてはすべてSsに包絡されるということを確認した上で、これを対応しているということになります。
1:12:31	はい。
1:12:33	規制庁モリノです。先ほどの説明でわかりましたのSsの評価がすべて揺すり包絡しているっていうその前提があつての省略ということですね。わかりました。はい。
1:12:49	規制庁ツガネですよろしいでしょうか。
1:12:55	よろしければ、続いて資料耐震建物の 14Aって数年がPDAは 3 年 2 月 2 日重要区域における 20 から操作についてについてコメント等ありましたらお願いします。
1:13:21	はい。
1:13:24	キシノです。ですね、ちょっと確認させてください。
1:13:29	4-g/お願いします。
1:13:42	はい、はい規制庁菊地です。前回コメントしましてこの 26-4 の詳細について説明が当行あつたものと理解していますので、基本的なことを前提条件を聞きたいんですが、なぜこのPu建屋の
1:13:58	一つ力は二重化という構造になっているのか、つけていただいた 4 ページの図面のほうを見ますと、中国骨格区域の床の上端等、あと基礎スラブの上端のスタート。
1:14:17	加藤誠本文中による情報から推定します等をこのクドウの部分が高さ 17cm ぐらいのかなということなんですが、これって導入機能、或いはどういう必要精度をもってこれを設けているのでしょうか。まずこちらについて御説明いただけますか。
1:14:39	フチノ
1:14:40	運営に通してございます。基本的に 25 設置しているエリアにつきましては再処施設等でもそうなんですけども水を切られる医療に関しまして、一段階安全性を設けるというところで、こうからも一つ床のほうを設けてそこの
1:14:58	Howつけることによって、より安全性を高めるといったところで二重かつてこの設置しているというような位置付けになってございます。
1:15:08	一つのキシノです。つまりとかそ 17cm のクドウ部は前排水をする間合いかなり

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:21	配管類が納められるというそういう理解でいいでしょうか。
1:15:26	日本に当初の配管類が定められている基礎から直接
1:15:35	その上に機器が設置するのではなくて一つクドウのエリアを設けてあげることによってテーマ外部からの水の侵入等に対して一段階、その部分でバッファを設けているというような位置付けの
1:15:51	痛感を二重化として設置しているというような日付です。
1:15:57	規制庁、土野ですか。に関しましては、緩衝体みたいなイメージなのかなというふうに理解しました。
1:16:03	間違っていたらまた教えて欲しいんですけども、そうしますと、この基礎スラブの上に厚さ 60cm ぐらいの重要区域の床ばねと、そのコードを挟んでくるわけなんですけれども、これは耐震設計。
1:16:19	9 条はどういうふうに見込んでいるんでしょうか。
1:16:28	はい、日本原燃のキタムラですけども、御質問にご回答しかつ
1:16:33	時外に設けられているかについてですけども、
1:16:36	SsとSDIに対してそれぞれの鉛直震度に対してそれぞれ換気協力度超えないことということで、耐震設計をしております。以上です。
1:16:49	しょっちゅう切り捨てとも言われたのは重要区域の床であるこの厚さ 60cm というのは比較的薄いものに対して、重要区域ですんで、Sクラス相当の有価として
1:17:02	要求される機能が発揮されることを確認していると、そういう趣旨でよろしいですか。
1:17:09	はい。年齢がキタムラでそのように認識で間違いありません。以上です。
1:17:15	わかりました。この部分について行って、そのスクラスマウスに有価なただけども、Sクラスとしての機能を発揮できることを確認しておって、その具体的な結果を別途計算書等で確認できるものと理解しておりますけれども、
1:17:31	それでよろしいんですよねということと、あと等を今御説明のあったこの高等部ずっと昨日機能といいますか。それを設けている理由とか、どういった役割を果たすのか。
1:17:46	この設計上、同様に前モデル化も含めて見込んでいるのかということについてはですね、きちんと資料をここで説明をしていただきたいと思いますので、そちらについては説明を追加していただきたいと思いますがよろしいですか。
1:18:00	値上げのキタムラです承知いたしました。
1:18:05	はい、ちょっと規制庁キシノです。私から以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:09	規制庁コサクですけども、今の点例を念のため確認なんですけど、重要区域だということでAsクラスの機器なんか乗っかってくるんだと思うんですけど、間接支持として
1:18:25	薄い床だっということに対してはどういう取り扱いをされてるんでしょうか。
1:18:35	はい。
1:18:37	日本に通してございます。こちらのほうの設計といたしましてはそれからもお話があった通り、Sクラスということがございますので、こちらはあのタンク堰のS TとあとSAつつ、こちらのほう両方の地震力に対しまして短期許容設計以下であるというような形のほうで両方の地震のほうを検討の放置して
1:18:57	すいません。規制庁コサクですけど床のことを心配しなくて、床に乗っかるものの耐震設計をする際に、床の挙動とかっていうのが、
1:19:11	気持ちが悪いなと思ったんですけど。
1:19:14	何かサポートを取るときに配慮していることはあるんですか、或いは配慮しないでいいという考えの整理があるんでしょうかということです。
1:19:23	はい。
1:19:25	えとですね、基本的にこの辺のキタムラですけどもご質問に回答させていただきます。基本的に床につきましては固有振動数のチェックしておりまして、今20Hz以上ということで時に影響がないという整理させていただいております。以上です。
1:19:45	規制庁コサクです。その点は、
1:19:48	添付書類とかで明確になってますか。
1:19:58	はい。
1:20:00	日本原燃の北村です。ご質問に岡ご回答させていただきますと3号固有振動数に対しましてはちょっと計算書のほうに期待しておりませんのでその点に関しましては、今後補正のほうで記載させていただくという方針でよろしいでしょうか。
1:20:16	規制庁コサクです。どういうふうに期待するかは検討いただければと思いますけど、間接支持率としての機能としては重要なポイントだと思いますので、明確になるように検討をお願いします。
1:20:30	日本原電ウラバヤシがございます。はい。床の挙動についても鉛直度を考慮不要というものの補足説明資料で高地解析の結果とか御示していただきたいと思ひますし、
1:20:44	瘻直則です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:46	補足説明資料作っていただくのはやっていたらと思うんですけど、あくまで補足説明資料なので添付書類でそれが上げる示された上での補足になるってところの関係もちゃんと整理をしてください。
1:21:05	日本原燃の北村です。承知いたしました。
1:21:15	規制庁繋がるです他コメントありますでしょうか。
1:21:26	よろしいでしょうか。
1:21:27	よろしければ、続いて耐震建物の 19 提出年月日例は 3 年 2 月 2 日三次元 FEM モデルによる地震応答解析の資料についてコメントありましたらお願いします。
1:21:40	規制庁カミデです。先ほど耐震建物 07 の水平 2 方向の必要な物件も確認しましたけれども、
1:21:53	資料の各種の資料と、この 19 番の関係を明らかにしてもらいたくて、その上で、
1:22:03	補足説明資料が申請書類の説明に対応してるのかっていうのが書かれていないし読んでいても、少しわからないところがあって、水平 2 方向の話をしている。
1:22:19	部分と、あと耐震化の地震応答評価で採用してるモデルの確からしさ妥当性を説明しているようにも感じる場所があって少し読んでて混乱していますので、
1:22:34	その展望等でですね、申請書との関係あと他の補足説明資料と関係をまず明らかにしてもらいたいと思いますけど、簡単に資料の位置付けを今説明いただければと思います。
1:22:52	日本原燃進み回答いたします。まず初めに、号炉こそ、耐震 19 の資料が先ほど説明したずれ間も資料の
1:23:10	とりついた報道と 13 ページになるんですけども、07 の資料の通し番号 13 ページのあるゴム産業 FEM による精査と書かれているところで、赤線でまとめようかコート提案について本新設の程度になることから、
1:23:29	極小等に対する三条に FEM による生産を行うと書いてある部分も硝酸。費用化した三次元の FEM ような精査結果について、ここで記載してございますので、
1:23:45	もう一つもいろいろ御質問がありますと、局長というふうな確認がすぐにするか、地震応答解析訂正しますのは、専門家という手段という御質問に対しましては、
1:24:05	傍曲相当運転するという提案を、例えば機器を

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:12	期待してしゃべってますということを示すのでは失明見ますと、それを設問する する 30 増えによるシステム系モデルと比較して、両者に
1:24:27	違う名前ことからそのような結論を目指しております。そこで、3 年増える露頭 という視点検ルートばテフロン実施ということで、質問コメントの妥当性を的に
1:24:44	比べることから、何かそういうふう資料に記載しております。以上になります す。
1:24:54	はい。規制庁カミデです。そういった目的みたいなものをきちんと書いていただ いてですね。そうしないと、例えば 16 ページにも、固有値解析をそれぞれ計数 比較した結果でこういうところを比べて
1:25:14	以上ですというような話もあるんですけど、結局何のために、何の確からしさを 証明するためにこの比較をしているのかっていうのがわからないです。今の記 載では何かを証明したいのかよくわからないかというか、
1:25:30	所管なので、
1:25:34	目的を示してこういう比較剛性その結果、だから、これが等々ですとか、そうい った結論まで
1:25:46	流れで説明できるようにですね、資料の記載は工夫していただければと思い ます。私のほうからは以上です。
1:25:55	承知いたしました。
1:26:00	規制庁キシノです。今のカミデの話と重なるところもありますけれども、資料の 通しの 10 ページのほうに、
1:26:15	今回の解析モデルケースというのがあるんですけども、今回その三次元モ デルのほうは、この表にある連結モデルを組んで検討していると思うん ですが、
1:26:31	今回のその検討の目的は先ほどさりと説明があってもとに移ると書いてあり ますけど 32 号店性状ノウハウと言うと実際に設計に用いている質点系モデル の地震妥当性確認ということかと思えます。トウソウしたときにこの 4 ケースそ れぞれ二極化中日というかごにしたり、
1:26:50	と地盤との相互作用を考慮したりしなかったりコンクリート剛性書いたりって いうような条件で 4 件設定しているんですけども、統合など、このケースでい いのかということですね
1:27:04	ソルコムサイトな地盤の条件とか、建屋の構造的な条件ですとか地震の整備 しかとかその結果発生する挙動ですとか、そういったことから、この四つの
1:27:17	そのといいます、これらのパラメータに着目して 4 ケースやれば、商業目的を 達成できるんだということになるかと思うんですがそのあたりの検層設定の考 え方についてちょっと説明をいただけますでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:33	中村屋の井上でございます質問に回答させていただきます。こんなの設定についてなんですけれども、資料の 13 ページでございます。その下段、例えば単身商工中金影響検討と。
1:27:51	理解をというふうに影響検討についてですね、建家モデル登録をした意見などをそれぞれ比較しておりますが、こちらの回答を見ますと、質点系モデルは、は様子を見SRモデルの既存のモデル
1:28:08	を示しておりますのでこちらを比較することで、チャンバを取り巻く交通つもりはまずしてもらえばということをちょっと改めて述べさせていただきます、そこでフレーム溢れる 13 ページ目にそれを見ますと、
1:28:26	応答解析結果の確認及び分析だけ性状把握というところで、点検メールモデルと比較する建屋モデルに関しては増加事務として床上でした。
1:28:43	パン勤務今日とか企画の位置というものを設定しておりますので、この設定のこれなぜかというところにつきましては、試験条件モデルはアームであるならねえ。
1:29:02	応答ということで、人透明でば床が
1:29:08	オオオカ防法肩のカミデしておりますので、そちらで把握できるように、例えば未レベルは建家の実務レベルを考慮しているので、入荷住民ですけれども、資料からごとにしていたりとか、
1:29:24	都市点検レベルではあるだろう。
1:29:28	産業とかのために大きなお金とかレベルもあるので、それも建家揉める頃は 800 ですけれどもそれを拘束したような形にするように、一番遠いを例えばウノ高速
1:29:46	したうエイノウエでやってますと、あと最後んんん支店業務レベルではさつき基本設計平均強度、
1:29:57	使ってますけれども、このときにはバックアップ実耐力を
1:30:04	テーマに引き下げたと思いますので、COCOコード強度も回復を行って
1:30:12	3000 的なして決めると比較するときに対しては十分であろうという判断しております。質問に対しての回答は以上になります。
1:30:25	所長キシノです。どういった趣旨は理解しているつもりですって、基本的に三次元モデルという精緻なモデルで血糖実際の挙動に近いものを再現して、それと実際の設計に用いるモデルと対比して、そのモデルが
1:30:43	妥当であるマスコミも保守的になってるってという説明のロジックかなと思うんですが、今言われたロッキングですとかに地震動ですとかいう会話 10 ですとか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:56	項目に絞られた理由は何ですかと言うのがちょっと質問の趣旨でして、ここにもその三次元性状としてはあるんじゃないかとか、あると思うんですけども、そこについてはですね、考え方の説明をちょっと充実していただきたいということなんですが、いかがでしょうか。
1:31:19	ビフォー見る政党卸回答させていただきます。質問、御質問いただいたということと記載の充実のほうをちょっと持ち帰らせていただくという形でよろしいでしょうか。
1:31:37	さっき説明の充実をお願いします。先ほどのコメントも全体のそのストーリーの説明ということなんかも含まれるのかもしれないんですが、今回の4ケースの図の条件設定なぜそこに至ったのかとサイトの特徴なども踏まえた上で、
1:31:55	この項目について設定して4決しましたというようなことがちゃんとロジックとしてわかるように説明していただければと思います。以上です。
1:32:07	単にふやす承知いたしましたいたします。
1:32:12	規制庁ハバサキです。今の2人のコメントにもちょっと関係するんですが、
1:32:19	今回、コンクリート剛性として実剛性の係数の考えられてるんですけど、これこの結果っていうのは、機器配管系への展開も考えているんでしょうか。
1:32:35	はい。
1:32:36	はい。
1:32:40	はい。
1:32:45	当初、こちらのほうは評価結果のほうの結果を示してございますけども、基本的に今当社の場合ですと、その実強度による音への影響といったところが、あまり大きくないところもございまして、結果のほうは、
1:33:00	それますけれども、
1:33:04	61ページの結果のほうは69ページになりますけども、
1:33:12	それほど規律的には大きくないといったところを考慮しておりますので、現状におきましては、機器配管等への影響がないといったところで当社のほうとしましては整理してございます。
1:33:23	規制庁ハバサキです
1:33:25	ごく数って、企業の実用炉みたいに、当期コンクリート等のボーリングとって、実挙動の変化を見ながら、先ほどの剛性に合わせるか、を考慮した形で評価をするっていうんじゃないわけですよ今回。
1:33:43	ここはまだこれから建設するおをするわけですので、その段階で実強度を考慮するっていう意味合いがわからなかったので、ちょっと趣旨が先ほどのキシノが始まりますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:58	どういう目的で、このケースを考えてやるんだということはちょっと明確に説明してもらいたいと思います。何ですけれども、奥瀬してるのかなという疑問からそういうコメントになりました。
1:34:14	それから次がですねちょっとこれも確認なんですけど 13 ページで比較やモデル 1 個の地盤ばねの条件なんですけど、気相した鉛直方向拘束ってあるんですがこれ鉛直柔道を固定にしてるんですかそういったも鉛直の辺を一步同じにしてるっていうんですか。
1:34:38	日本にいらっしゃると思うんですね、達成回答させていただきます。ちょっとその細かいところにも拘束条件で運用をどう自分自身の負荷重量計システムについてはちょっとイノウエ。
1:34:52	確認させていただきたいので、ちょっと持ち帰らせていただくことでよろしいでしょうか。
1:34:57	規制庁ハバサキです。はい、お願いします。ただいずれにしても 24 ページに考察の会計やってロッキングを考慮した、しないと比較用モデル 1 のほうに比べると、建屋モリノでは、
1:35:13	ご指摘ですよって 24 ページの一番最後を書いてあるんですけれども、
1:35:20	当たり前の話が何でこんなことを書く必要があるのか例えば、
1:35:26	ロッキングの固有値と。
1:35:29	建屋模擬モデルの固有値が合ってるから、このモデルは、
1:35:34	妥当であるっていうのはわかるんですけども。
1:35:37	ちょっと今 24 ページに書いてある考察との兼ね合いが趣旨といいますかですね、意味合いがわからないので、日キシノしました。ちょっとその目的とあとの考察 24 ページに書いてある考察のぎみの含めてですね、お願いしたいと思います。
1:35:56	いかがでしょうか。
1:35:59	そのためにですね、質問回答いたします。おっしゃる通りです。
1:36:07	右側の大きなファクターを拘束した評価を行っており、比較すると当然建屋のほう構築しているけれども、
1:36:22	教わって計画に捕集できるですとちょっといんす過ぎてるかなということを書きセンターところであるんですけれども、これ我々が言ってることとしては、ホットウェルの影響があるらしいというのは、
1:36:41	まずそれはその時点で組織としてロッキング効果を見ることレベルね最終的に指摘歩道と比較するということに対しての
1:36:56	そうだというふうに評価しておりますということで行ったものであります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:03	規制庁ほど技術了解しました。今の趣旨のわかる文章とあと結果の提示の方をお願いします。で、先ほど言いましたけど、今の趣旨でしたら、ロッキングの固有値とこのスペクトルを比較したほうが良いというふうに私は思います。
1:37:19	同じようにですね、例えば3事業と性状の話でずっとねじれモードがこういう値等、対応しているとかですね、スペクトルがそういう比較は今固有値解析の結果で非常に30までかな少ない市ですね。
1:37:37	もう少しもしあれならこれも分析を深める必要があるというふうに思います。
1:37:44	ちょっと具体的にページとか言いませんけどですね、
1:37:49	あと同様な趣旨が、今
1:37:52	建屋の要するにとの比較をしてるんですけども、三次元応答性状っていう意味では建家の中央部の床の中央部だとかですね、半部だとかそう壁の上じゃないですね。
1:38:05	大きなスパンのスラブの中央部だとかですね。
1:38:10	そういったところの応答はじゃあどうなんですとかですね、あと、
1:38:15	基本的にこれ水平の応答がメインで鉛直の応答っていうのは先ほどの最初の説明あったんですけど、それ以外のところは今日は周辺の話しか出てないんでちょっと
1:38:30	最初、冒頭言われたし、この資料の目的。
1:38:36	としては、資料がまだ不十分だというのが印象です。
1:38:41	ですので、今ちょっと簡単に申しましたけれども、もう少しいろんな考察だとかですね、検討を深めた上で説明をして参りたいというふうに思います。以上ででしょうか。いかがでしょうか。
1:38:55	2番目にSsの供用を大きく設定してどっちで見てみるですとか、また所よろしいでしょうか選定についてのちょっと
1:39:10	今徹底もふやして参るVesselとか、質疑いただいた点についてAh精査して新聞運営的拡充していきたいと思います。以上になります。はい、経緯と規制庁ハバサキです。最後になります
1:39:29	57ページのほうに応答を整理させて排出というすいません日本原電裏返してございます。先ほど実強度について、今建設中の建物であるのはちょっと
1:39:45	あまりF3本の相関クドウご意見いただいておりますけれども、今現在の私どもの考えをお伝えしたいと思います。この資料で設定しました実強度は建設途中ではございますが、燃料加工建屋の基礎や地下部分の
1:40:04	壁柱のその当時の使用前検査記録でその結果の値タスク京都とかそういう値を今回の資料に一応させていただいております。それがちょっと事実関係でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:20	以上です。飽きちゃうわけですが、以上ですしょうか。
1:40:23	以上でございます。今のウラバヤシさんの説明っていうのはこの資料にあるんでしょうかということそうするとモデルの実強度のみしているのも、その対象のところだけを実強度にしているということでしょうか。
1:40:44	ですから、づきさんに関しては、通し番号の事務ベースでも表があるんですけども、職員の下の文章では下の文章に両輪を意思のもとに、
1:41:01	なお、コンクリートの実強度については行革とてもにおけるべきかというところに記載しております。
1:41:09	一つ目のご質問進む運営。
1:41:14	ことですけども、今はとぴあが前提にしてそのコンクリートですけども、どう適用している状況になっています。以上になります。
1:41:24	規制庁川崎です私 10 ページに今説明されたところですね、ATENA間口ありましてですね、宮丘頑張ったんで、ちょっと質問しなかったんですけども、少しわかりやすくというのと、そのを対象としているものが全体の縦の建家全体に対して寄与してますっていうことは、
1:41:43	液体のほうしてください。よろしいでしょうか積算を実務に承知いたしました。
1:41:51	先ほどちょっと言いかけた最後の 57 ページなんですけれども、補正係数を補正比率部材っていうものを、これ下方向入力とねじれの成分を
1:42:07	掛け算規定マックスでこれから見たいという形で評価しますっていう説明があるんですけども、規定等、これに関してで、今、その影響に関して、スケルトン上の応答値 1 示されてますけれども、
1:42:24	今後、このPA建屋に関しては、この比率を考慮して、すべて建物の附帯設備だとか、
1:42:35	或いは機器系も含めてですかね、すべてこれござい補正をかけるという、そういう理解でよろしいんでしょうか。
1:42:47	うん減らすお勧めに対して回答させていただきますと、この絵と最終的に出した補正係数をオールをこの戦争か他のこのこのところに適用するということは現段階では考えておりません。
1:43:03	この資料も進ん完結する数値としてを入れるの扱いにしています。以上になります。
1:43:13	規制庁ハバサキです。わかりました個性オオオカ比率を考えたもこの程度であるという趣旨の資料で、ここで終わるということで、一応県中では理解しましたので、今後その生業高温の資料での扱い、そこはそちらのほうでまた議論したいと思います。
1:43:33	私のほうからは以上になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:46	規制庁とられるほか、よろしいでしょうか。
1:43:49	規制庁もタケダです。
1:43:52	ちょっと私の方からステート 1 点だけ確認させていただきたいのですが、最後のハバサキの話もあった 57 ページになるんですけれども、
1:44:05	ちょっとここで、
1:44:11	3 方向入力の補正比率 $\alpha$ というのが 1 方向入力による応答加速度を 3 方向入力による加速度。
1:44:21	による日につれがされているんですけれど、これはさっきの資料の話の踏まえると、
1:44:29	局所的な面会共同ですとか、あとはねじれ方向、そういったものも含んだ広い応答補正比率になるということになるのでしょうか。
1:44:41	というのと、ね切る振動応答比率データっていうのはその場合、ねじれになるのかということなんですけれど。
1:44:50	c. 系モデルの最大加速度等建屋も来モデルの最大加速度では横形 10 床になっていたりだとか実強度を用いたりだとか、
1:45:03	そういった状計算条件の差分によるなんか比率に思ってしまうんですけれど、この辺はちょっと説明いただけるでしょうか。
1:45:14	役員クラスとする二つのデータの質問をちょっと生徒っていうのは聞こえなかったようにケーブル C でしょうか。
1:45:27	規制庁の武田です。はい、聞こえていますでしょうか。今、
1:45:32	大丈夫です。
1:45:34	メーターの引き継ぎっていうのが C. 形態をモデルの最大加速度を館山模擬モデルでの最大加速度の比率ということなんですけれど、建家模擬モデル、この二つのモデルの違いっていうのか。
1:45:52	というかが重要であるからこうであるかでコンクリート強度設計基準強度であるか、
1:45:59	実強度であるかを越えた違いだと思うんですけれど。
1:46:02	このこれらのモデルの比率が日齢振動による影響なのでしょうかという質問です。
1:46:13	いらっしゃる質問回答させていただきます。まず最初に $\alpha$ モード 9 一方向分散方向で
1:46:22	主件についてなんですけれども、
1:46:27	3 法すごく方向入力による加速度ですときに、一般の計算の手法としては、各方向へ移動へ報告したときに、3 方向の加速度を出力するようになっておりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:43	例えばですけれども、X方向のオール比率伸ばしたいときには分母がX方向によるX方向の最大応答加速度におきまして分子のほうがXa5 項目めで当行の
1:47:02	加速度プラスわりに力によるX出力プラスZ動くの奥瀬出力を時刻歴ベースで足し合わせた文言は僕しになっておりますので、
1:47:19	3 方向も組み合わせとして、
1:47:23	一つというふうにこれで公募適用というふうに考えておりますので、一つの御質問も $\beta$ に関しましては、ここに
1:47:36	一番やりたいことといいますか、本来であれば、分量は支店県のレベルで最大応答加速度というのを比較したかったんですけども、
1:47:52	もし点検まで 5034 条、事務事業をしたウノってしまいますので、質点系モデル部を
1:48:05	10 解析の状況といいますか、現場レベルでは過言で設計基準強度を用いておりますので、そっち目を試すというシステムモデルと建屋のへり押角することで、
1:48:21	技術的に割増典型戻る分をハウジング等事例集のほうの冒頭に比較したい。
1:48:30	ために貢献形で決算の報告をさせていただいたということになります。
1:48:36	以上になります。
1:48:46	規制庁の武田です。はい。行いたい検討については理解はしました。
1:48:52	ちょっと思ったのはあるPARの中で、
1:48:57	その一部を購入クドウ 3 方向入力による比率ということで、ここにはねじれの要素って入ってるんじゃないのかなという、そういう話なんですけれど。
1:49:07	おっしゃる通り繁忙 $\alpha$ についても影響による多少なりとも入っているんですけども、我々としてちょっと保守的な評価をするために行われたデータを掛けたものが最終的な
1:49:22	ちょっと補足比率ゼロとして算出して率直データ評価を行わせていただいているという障防法とらせていただいております。以上になります。
1:49:32	規制庁の武田です。そういうことでしたら、理解できました。そういうことがまず読みにくいところがあるので、もう少し説明のほうを充実させてもらえるでしょうか。
1:49:43	前です承知いたしました。
1:49:47	はい。お願いいたします。タケダの方からは以上になります。
1:49:53	規制庁ツガネです他コメント等ありますでしょうか。
1:50:01	規制庁カミデです。ちょっとこの資料じゃなくて、経営等、ちょっと全体のことで、コメントします。
1:50:14	当たい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:16	近い申請で説明する内容の示し方っていうのがですね、今日をいろいろ資料を見てきましたけども資料館でも非常にバラバラで耐震建物耐震ゼロなどの水平 2 方向だと。
1:50:35	下線を引いたり、河川の点線を引いたりですね指定を示すと。
1:50:44	また網羅性の話だとマトリックスをつくりましたとか、あと浮き上がりの話だと冒頭にもお時間を次回ですと書いていただけというような形でまちまちなので、その辺の示し方については統一的に考えを持って、
1:51:02	っていうことはされてその上で一番丁寧なのは、建物耐震 07 の書き方は丁寧ではあるんですけど、これはあの工事回申請で示す内容も溶け込みました上で線を引きますという形なので、すべてがこれに統一できるわけでもないし、
1:51:22	ややもすると、これはこれで読みにくいということもあるので、全体的にどう示すのがいいのか、検討いただいて、資料に反映いただければと思いますのもし
1:51:38	段階的に考え方を説明したいということであれば、説明を受けますのでよろしくお願いします。
1:51:49	はい、日本原燃さんはですね、今最後にカミデさんのところからありました段階的っていうところで今いろいろ考えてました定期連側のやつでもしかしたら段階的なのがあるのかもしれないなと思ってましたのでその辺整理した上で相談させてください。
1:52:07	はい、わかりましたよろしくお願いします。
1:52:11	規制庁の古作です。1 点だけ、今の話のですね。網羅性の資料は、おそらくこれでいいんだと思います。これで
1:52:23	先ほどコメントあったようにもう少しその仕分けの考えをわかるようにとこかっていうの対応いただければよくて、これは審査会合でも話をする前多いい。
1:52:35	ウノ先生がどうなっていて、どう分割して、それぞれの論点が何かということを示すという意味合いがあるので、全体が書いてないところもある。
1:52:45	いうことだと思うんですけど、それ以外の資料はそれを踏まえて、今回何を説明が
1:52:52	必要かで、その説明になって一定で工事買物物は具体的にこういうことですよっていう先ほど網羅性の整理の中でのもう少し具体的に今回等、次回ということが見えるようにしていくっていう資料だと思いますので、それで意味合いが違うものは、
1:53:11	それに応じて書いてくれれば良いということだと思いますので、その辺をよく整理をしてまとめていただければと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:22	はい、日本原燃サガワです。今のコサクさんのご指摘で網羅性で全体像を示した上で、その他の補足資料がぶら下がるものだっていうところを念頭に置いて、ちょっと記載して書きます。はい。
1:53:42	規制庁つもりです。他よろしいでしょうか。
1:53:45	すいません、日本原燃サービス 1 点だけ確認させてください。今日いただいたコメントをこの後、本当。
1:53:54	これ、工程のほうに反映させます。その中で 1 件確認使ったのが、例えば今日のSDの資料でちょっと体裁のところでツガネさんのほうから、これがあくまでも本当計算書の記載の話だよっていうところを少し明確にしてくれというコメントを受けました。それは直します。
1:54:13	その資料の提出を御説明っていうところの関係性がちょっと
1:54:19	どうしたらいいかなっていうのを相談したかったです。中身についてはもう今日説明しました。体裁直したのも、一応この日に提出しますってことは示すんですけど、そのヒアリングの扱っていうのは、通したらいいかというのは少し相談したかったってのが今の確認の趣旨です。
1:54:38	規制庁津金です。内容についてと、概ね妥当と判断して書きぶりだけのものについては、資料提出いただいて内容をこちらのほうで確認して必要があれば、ちょっとヒアリングで確認させていただくという形にしたいと思いますがいかがでしょうか。
1:54:53	日本原燃サガワです。了解しました、一度速やかに直して提出いたします。はい。
1:55:01	規制庁コサクです。今の点だと速やかに直せるものだと思いますので、それ以降の提示物でのヒアリングのときに、何かあればコメントできるってということだと思いますから、そういうのは早めに出すということでスケジュール組んでいただければいいかと思います。よろしくお願ひします。
1:55:22	はい、日本原燃サガワです。ムラカミの重みでそれ分かれるってというのは理解しましたのでその辺がわかるようにスケジュールと提出日を
1:55:31	設定します。はい。
1:55:35	規制庁疲れです。他よろしいでしょうか。
1:55:40	よろしければ本日のヒアリング通じて込ま切っ減のこれからの対応方針、またスケジュールについてご説明願ひします。
1:56:00	はい。
1:56:03	どうしてございます。まず冒頭ございましたのロジック関係の方でございますけれども今日の議論を踏まえまして、ウノさん等の御指摘踏まえて、当社としまして

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	も、今一度やるべき事項といったところが整理されてございますので、特に地盤モデル等につきましては、
1:56:22	今の地盤モデルの妥当性に関わる部分といたしまして、ボーリングデータであったり、あとPS検層結果、こちらのほうの内容の方を踏まえまして当社のほうのロジックを
1:56:34	展開していく上で必要なものといったところを探して整理した上で次回の補足説明資料の中で、ロジックもあわせまして、そのロジックに応じてどこが該当しているのかといったところですね、より明確化するような形のほうで地盤モデル関係につきましては整理させていただきたいというふうに思っております。
1:56:52	また、液状化のほうにつきましても、特に屋外のほう構造物のところで液状化のを考慮した中で、その部分の液状化。
1:57:05	一番回答ですね地盤改良の方がどのような位置付けのところを閾値を考慮した上でそのへと地盤改良といったところがどのような位置付けくしテーマ共同していくのかといったところですね必要な部分といった形のほうで理解をしてございますので、そういった部分で
1:57:24	わかるような形のほうで労使区の声を修正するとともに、次回以降の更新関係でございますので、補足説明資料関係でございますのでそちらのほうに展開させていただきたいというふうに思っております。
1:57:37	また三番目の関係の方につきましては本日ご提示していく中でもですねやはりまだ切れない部分等がございますので、そういった内容に関しましてを気体のほうを充実するとともにですねちょっと全体的な網羅性、
1:57:54	等踏まえまして次回申請の位置付けといったところがどういったところが、このにあたるのかといったところをより明確化。
1:58:04	ビーマ送りやすいような記載になるような形のほうで集計をさせていただきたいというふうに思っております。
1:58:11	またFujii向こう関係の部分につきましてはあと鉛直幅員の評価部位の抽出につきましても、こちらのほうを抽出の部分の過程の中で少し見えない部分等もございましたのでそういったところに関しましては、記載のほうの充実化のほうを図っていききたいというふうに思っております。
1:58:30	また三次元のFEMモデルの地震応答解析につきましても、今日いただきました内容を踏まえまして、こちらのほうの資料につきましても全体的にブラッシュアップの方さしていただきまして、本日のコメントなりを適切に取り組んだ形のほうで、資料のほうを改定の方さしていただきたいというふうに思っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:52	こちらの方に対してもそういう各スケジュール化につきましては、特に一番モデル及び基本ロジックの液状化の方に対しましては、本日の資料のほうにもございますけども3月ミドル及び基準のほうにですね資料のほうを充実した形でもデータ関係のほうを抽出した形のほうで、
1:59:11	できるような形のほうで今、資料作成のほうへ進めておりますのでこちらのほうで本日のコメントを踏まえた形のほうで対応していきたいというふうに思っております。
1:59:22	また戻せ関係につきましてはこちらの誓いの充実化等でですねあと整理のほうはございますので、23週間ちょっとお時間の方いただきまして再度整理させていただきますましてこれ水深をいただける形で対応させていただきたいというふうに思っております。
1:59:41	水平2項関係の三次元のFEMモデルのほうにつきましても、この記載の充実のほうから来たのがございますので、3週間コードですね、お時間の方にいただきまして、市町の制度のブラッシュアップの方がやってきたと思いますが、こちらのほうにつきましては
1:59:58	今ほど申し上げた内容をもう一度精査させていただきますまして工程へのですね、固定費への展開につきまして記載させていただいて、次回以降ですねスケジュール関係の方の御提示させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。私からは以上です。
2:00:17	すみません。綺麗側日本原燃サービス。
2:00:20	トレン側としましては先ほど富樫が申しました通り、網羅性の資料は3週間ということであれば二、三週間ということになりますんでそこで1点補足なんですけども、ちょっと今回の御指摘で理解したというところで、うちの第1回申請と第2回申請っていうところの一番上に書いてる説明っていうところと、
2:00:38	そこと類型化の話を絡めて説明しなければいけないなっていうことがわかりましたのでそこを工夫した上で見せていくっていうのが資料の直し方かなと感じておりますというところがまず1点、その他の資料のSDPと浮き上がりというところでSDPは先ほど申しした通りの記載の
2:00:56	見直してっていうところと出来上がっ浮き上がりにつきましては寒冷さんからご指摘ありました通り次回っていうところを見せ方っていうところというところと、あとは動的の根拠をしっかりと書きなさいというところが主になるのかなと思ってますのでその辺の失注性を今週中にしまして来週ぐらいに提出したいなということ考えてますっていうところが綺麗側になります。
2:01:17	以上です。
2:01:21	規制庁津金です。はい。曲げの説明、コメントありますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:27	よろしいでしょうか。
2:01:29	すみません、規制庁すみませんどうぞよろしいですが、1点すみませんトガシさんから話があった液状化の話なんですけれども、これ確認なんですけど、必要な活動に関しては、有効応力解析を行ってという話がさっきあったと思うんですが、
2:01:47	有効応力解析自体っていうのはもう進められていて、それが今後説明されるということでよろしいんでしょうか。
2:01:58	今現在実施中でございまして、ちょっとまだお出しできるような状況にはありません。
2:02:05	規制庁ハバサキですね集ということで了解しました。すみません。
2:02:10	規制庁コサクですけど、今欄で申請団地てるのにですと判断したところはあるんですけど、
2:02:20	特に今の
2:02:22	地盤モデル等液状化の話はロジックを整理してというようなところがあってですね。
2:02:29	エビデンスを整備するのに時間がかかるので3月ミドルということだったんですけど、ロジックを整理するっていうような断面になっちゃってるっていうことは、審査会合で論点になって、
2:02:46	ということだと思えますよ。それを3月ミドルまで追加で今のような人計算をする必要があつてみたいなのっていうのを審査会合言わないっていうのはよくないと思えますよ。
2:02:58	ということからすると。
2:03:01	次のヒアリングを3月ミドル以降っていうのはナンセンスで、
2:03:06	そこをどう刻んでいっていかっていうことを検討いただきたい。
2:03:11	思います。
2:03:12	で、網羅性の話は先ほどサガワさんが御理解いただいたというところですので、全体としての新生計画類型化というところの議題1と合わせての話になるので、そっちのスケジュールに合わせれば
2:03:31	ヒアリングの順番ということも決まってくるかなと思いますので、それを見ながら制御していただくというので、サブサガワSum理解でいいと思います。それ以外の話、
2:03:45	建物系で言えば2方向の話先ほど説明ありましたし、記念側で言えば、SDの話っていうのは結構大きな話っていうのであるかなと思うんですけど、その辺りはSDの社員1週間そこそこできる話だったので、
2:04:04	進めていただければ審査会合でも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:08	前回論点として変なふうに言われた部分をリカバー吸っていただくようなことを説明いただけると思うんですけど。
2:04:16	建屋がもう同様なタイミングで対応するものをどうするかということを考えながらスケジュール組んでいただければと。
2:04:25	思います提案の一番最初にスケジュールで大枠今後こう大枠としてどう進めるつもりなんだ会合も踏まえながらということに繋がるので。そこを
2:04:37	整理して、今後スケジュール表を出していただければと思います。よろしく願います。
2:04:49	表現の項でございます。1点ちょっとこちらからどう周りの有効応力解析をやる件について今実施中ということで御説明しました都道の申請については、この第2回の申請で考えておりましたそれに関連する作業ということで現在、
2:05:09	実施中ということでございますので、それをこの第1回の申請の審査の中で評価結果を出して補足説明資料に書くというところがちょっと当初計画していたところが、その第2回に向けてという認識で進めておりましたので、そういう意味で、
2:05:30	コサクです。第2回の計算結果を今回示せて誰が言いました。
2:05:43	兵庫県の高校でございます。有効応力解析をやって、現在実施中ということとその結果を補足説明資料で示すのかなと思っておりましたがちょっと認識が違いましたでしょうか。
2:06:01	規制庁コサクです
2:06:05	今日のやりとりのところでそう思われたのかよくわからないんですけど、やるべきことをその上流の要求事項から踏まえて整理をして明確にしていましょってというのがロジックの議論、
2:06:19	です結果を示せということではないはずです。
2:06:25	一方で、地盤モデルの方とかはデータを見ないと本当に考えればいいのかどうかかわからないという部分はあるんですけど。
2:06:34	その内容に応じて何を出すべきかっていうことの整理が必要なので、
2:06:40	それもロジックでのペーパーでの議論になろうかなと思うんですが、ちょっとまだ
2:06:48	履き違いがあるような気がしているので、であればこそロジックの
2:06:55	改めての説明っていうのを早くやったほうがいいんじゃないかなと。
2:07:00	いうふうに思います。はい、日本原燃の項でございます。ご指摘理解しましたまずキカンロジックのロジックペーパーの方をしっかりと作って、それを
2:07:11	そのロジックに従って何を示すべきかっていうことをしっかりと整理した上でちょっと今、頭の整理が少しちょっとずれたところもあったと思いますので、まず紙

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	にちゃんと架橋としてどういうロジックで何を説明するんだというところを改めてちょっとブラッシュアップした上で御提示したいと思います。
2:07:27	以上です。
2:07:30	規制庁ハバサキですすみません、先ほど私が有効応力の話を聞いたのは、現状どうなってますかっていうファクトを聞いただけでやって決して今回出すとか、次回た出せそういうものを念頭にしたものではありません。
2:07:45	以上になります。
2:07:49	いよぎんの鉤でございます田んぼ接し理解しました。以上です。
2:07:55	規制庁津金です。他よろしいでしょうか。
2:08:00	ちょっとお願いがあるんですけど、基本ロジックについて共通の地盤モデルだとか液状化のしてきたんですけれども、これら考慮して側面ばねの設定についても、多分その基本的なロジックがあって、
2:08:13	その後に構築した上で設定して評価やってると思いますんで、この側面まで地盤モデルについてのロジックっていうのをちょっと作っていただいてですね、今後説明していただきたいんですがよろしいでしょうか。
2:08:26	いうふうにはどうしてございますので、御趣旨理解いたしましたので、ロジックのほうまとめさせていただきまして低下していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。
2:08:36	規制庁津金です。本日の経営こちらからコメント等も踏まえて、なるべく精度の高いロジックを作っていただくようお願いします。
2:08:44	他よろしいでしょうか。
2:08:50	よろしければ、すみません時間超過してしまいましたが、これにて本日のヒアリング終了したいと思います。ありがとうございました。
2:08:57	はいありがとうございました。
2:09:00	はい。
2:09:01	。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。